

「済生会交差点」

〈静岡〉川奈臨海学園  
地域小規模児童養護施設  
あおば 開設

# 濟生

## SAISEI

THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1127



5

May 2023

# 済生会の不易流行論

理事長 炭谷 茂

Shigeru Sumitani



## インクルーシブ就労

176

ぜひお勧めしたいレストランがある。栃木県小山市乙女の旧国道4号沿いにあるイタリアン「みゅぜ・ど・ぱすてる」である。料理は、有名レストランで腕を磨いた一流シェフが作る。肉料理、魚料理、どれも美味しい。もちろんスペゲティはじめパスタも見逃せない。ボリュームは多いが、料金はリーズナブル。

それよりも、従業員の気配りが行き届いている。3月にもここでランチを食べた。牛肉を桑の実・ラズベリーをたっぷり入れてじっくり煮込んだスペシャル料理だが、大満足だった。オーダーを取りに来た若い男性は、大変ガタイがいい。やせ細った私の倍くらいの体格だ。

「柔道やつてたの」「高校で野球をやつていました」「甲子園に出たの?」「甲子園に出たの?」

後の一連の質問はサービス精神で聞いていただけ。「ノー」の返事を予想していたら、彼は遠慮気味に「2回レギュラーで出場しました」と運動部出身らしく折り目正しく答える。聞けば群馬県の野球名門校出身だった。

料理を運んでくれたのは、障害を持つ女性だった。大変明るい。聞けば彼女は卓球の選手で、全国の障害者スポーツ大会に出場した実績があるという。毎日仕事をするのが楽しくて仕方がない感じだ。

ここは障害者就労事業を行なう社会福祉法人パステルが、障害者に就労の場を用意するため、2017年に始めた本格的なレストランである。大規模な桑の栽培も行なっているので、桑の葉を材料にした料理やお茶があり人気メニューにある。

料理部門は健常者が中心的に担うが、障害者も一緒に働く。

客にとって誰が障害者か認識は難しいし、その必要もないことだ。全員同じ従事者である。これこそ「インクルーシブ就労」の実践例である。私の採点では、ミシユランの星を十分にもらえた。全員同じ従事者である。この実践例である。私の採点では、ミシユランの星を十分にもらえた。

国連障害者権利委員会は昨年10月、日本政府に対しても日本において障害者の「インクルーシブ就労」が大変遅れないと指摘し、速やかに「福祉就労」から「インクルーシブ就労」への全面的移行を勧告した。しかし、これに対する行政や研究者を含めた関係者の反応は、鈍い。日本の障害者の就労の実態は、障害者だけが他の従事者と孤立した場所で、市場経済の枠外で働く形態が多い。これでは市民の一員としての障害者の人権面では問題である。

ヨーロッパ諸国ではインクルーシブ就労が一般化している。国連の勧告を尊重して早急なインクルーシブ就労の普及を実現したいものだ。

● 買って！得して！社会貢献！

# PRIMO SHOP

このサイトは、ソーシャルインクルージョン・SDGsの推進を目的としたショッピングサイトです。



タータンキルト商品も販売中！

北海道  
厳選  
グルメ



期間限定お買い得特選商品！  
(6/1受付開始～7/31受付終了)

ぷりもぱっそが厳選した北海道グルメをお手頃価格でお届けします。  
お中元・夏ギフトとして最適な商品です。

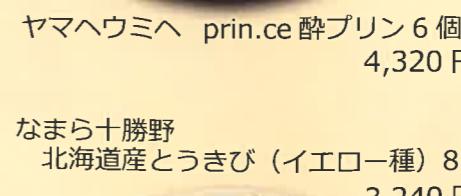
※沖縄県及び離島は配送の都合上お届けできません。 <https://primoshop.stores.jp>



トンデンファーム  
トンデンファームギフト FT-30A  
3,240円



おたる夢市場 詰合せセット  
5,400円



ヤマヘウミヘ prin.ce 酔プリン6個  
4,320円



ノベルズ食品  
十勝ハーブ牛のコンビーフ白と黒3缶  
4,860円



なまら十勝野  
北海道産とうきび(イエローワン)8本  
3,240円



未廣軒×なないろキッチン  
北海道冷やしそんざい3種6本セット  
3,996円

就労継続支援B型事業所  
北海道済生会ぷりもぱっそ

小樽市築港10番1号  
0134-32-9780  
[p-shop@hokkaido-saiseikai.jp](mailto:p-shop@hokkaido-saiseikai.jp)

# 濟生

SAISEI

MAY, 2023

C O N T E N T S

## NEWSな濟生人

### 三石敬之さん

リハビリテーションこそソーシャルインクルージョン

〈福岡〉飯塚嘉穂病院 副院長兼リハビリテーション科主任部長

06

### 濟生会交差点

《地域の中で子どもを育てる》川奈臨海学園 二つ目の「地域小規模児童養護施設」を開所。地域に見守られながら新しい生活をスタート! /《クラウドファンディングに挑戦!》地域の期待を乗せて走る救急車。住民との絆を再確認/《地域のための介護医療院》手厚い医療ケアで、最期まで家族と本人に寄り添う/《施設の垣根を越えて》「ワンストップで支援につなぐ」を目指して。濟生会地域包括ケア連携士、日々奮闘中

10

### 卷頭コラム 濟生会の不易流行論

インクルーシブ就労 理事長 炭谷 茂

03

### 5月のたよりが聞こえる —— 潮干狩り

05

表紙のことば 久保田真由美

### ソーシャルインクルージョン

18

### 濟生会生活困窮者支援事業 優良事業報告書

20

### この人 藤田朋子

22

### 口福にっぽん 吉井省一

24

### だれでもかんたんてづくりおもちゃ いまいみさ

26

### TOPICS

28

### 載々、大雑報

70

題字協力: 石飛博光

アートディレクション:  
OVO INTERNATIONAL



## 5月のたよりが聞こえる 潮干狩り

春を満喫する野外レジャーの代表格が潮干狩りだ。山には山菜採りや摘み草があるが、こちらは個人や2、3人のグループが多く、家族ぐるみ、親戚、ご近所単位となると、やはり海に向かう。岩場での磯遊びも捨てがたいが、実益からすれば潮干狩りの圧勝だ。

干満の差が1年のうちで比較的大きくなる旧暦の3月初旬、今のがたないが、実益からすれば潮干狩り

きくなる旧暦の3月初旬、今のがたないが、実益からすれば潮干狩り

中頃の大潮の時季は、江戸時代から続く遠浅の海の風物詩となっている。1838年に刊行された「東都歲時記」には東京湾の品川や高輪、芝浦、深川洲崎など人気の潮干狩りスポットの様子が記されている。朝、6時ごろ船で沖合に出て、昼頃になると潮が引いた砂地に下りて、アサリやハマグリを掘り、時にはヒラメをなんづけたり小魚をつかまえたりしながら、小宴会まで開いていた。

当然、浮世絵の題材にもなっていて、着物の袖をまくり、裾をたくし上げて貝掘りに興じる女性や腹当て一枚の子どもが描かれている。ふくらはぎや腕の白さがその気を呼び覚ますのか、男女の出会いの場になっていたそうだ。

まあしさの増した海が若者を開放的にするのは、今も昔も変わらない。簡単にして、ミネラル豊富、良質なたんぱくもある貝と人との付き合いは先史時代にさかのぼる。日本には、モースが発見した大森貝塚をはじめ2500カ所もの貝塚がある。最も古いのは縄文時代初期、紀元前7500年頃のものだ。その中で唯一、国の特別史跡となっている千葉市の加曽利貝塚には2000年分の貝殻が堆積しているという。日本近海には5000の貝類が生息しており、食用に適するのは約50種類。貝塚全体からはアサリ、ハマグリ、シオフキ、シジミなど40種ほどが出土しているので、縄文人は食用に向く貝はほとんど食べていたことになる。

当世の潮干狩りはアサリ、ハマグリが中心で、大半は事前に貝をまく「仕込み」が主流だ。それでも自分でとるのはうれしいものだが、貝毒が発生しているところもあるので、自治体等のお知らせにご注意を。

### 表紙のことば

アサリがとれてもとれなくとも海は光る

表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

海の水も優しく感じられるようになりました。波が引いた後は、光を受けてキラキラしているといえ一面の砂色。さあ宝探しです! 何もなさそうに見えるけれど、様々な色や模様を個性的に身にまとった

アサリが隠れています。砂の中から思いがけないきれいな模様のアサリがとれたり、何も出なくてがっかりしてみたり。お宝がたくさんとれた人も少しだった人も、高らかに舌鼓が打てますように。

新型コロナの流行で社会は大きく変わりました。日本の医療提供体制の弱点も洗い出され、リハビリテーションもその一つです。コロナ禍をきっかけに生き方や働き方などを見つめ直す

中で、リハビリテーションが果たす役割は何か、飯塚嘉穂病院副院長兼リハビリテーション科主任部長の三石敬之副院長に聞きました。

(飯塚嘉穂病院 済生記者 春口勇介)

春口 三石副院長は主に回復期リハビリ病棟で診療していますが、コロナ禍でリハビリテーションにはどのような影響がありますか。

## リハビリテーションこそソーシャルインクルージョン

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

副院長兼リハビリテーション科主任部長

# 三石 敬之さん

## NEWSな済生人 Interview



※新型コロナウイルス感染防止のため、インタビューは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています



自然豊かな療養環境で健やかに過ごせる地域づくりを目指す

## 機能回復からオンラインフラ整備まで全てがリハビリの対象

とが要因として指摘され、リハビリの重要性が見直されています。

春口 そうなんですね。三石 リハビリと関連して栄養管理も重視されています。誤嚥は嚥下に関する反射や筋力などが弱まつて起こります。嚥下機能が低下すると口から食事をとることが難しくなって、栄養状態が悪くなります。そうした悪循環の中で重症化したり、死亡に至つたりするケー

リハビリの対象

スが少なくなかったのではないかと思います。

春口 影響は栄養管理にまで……

三石 特に高齢患者は、コロナ禍でフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）の進行を抑えられなかつたことはリハビリ専門医として重く受け止めています。

改善も必要なのでしょうか。

春口 縦割りで専門分科した日本の医療の想定して、適切な栄養管理を含めたりハビリ医療の視点を加えた対策が必要です。

春口 海外ではどうですか？

## リハビリはまちづくりのためのツール

春口 アフターコロナに向けての課題はありますか。

三石 この3年の間に患者さんの状態は低下しています。残念ですがリハビリを中断した時点の体力機能を取り戻すことは難しく、それに少しでも近づけることが治療

三石 実はあまりリハビリを重視していません。国際学会に出席して嚥下障害に対するリハビリの効果などを講演しても、あまり関心を持ってもらえません。例えば、米国には回復期リハビリという組みではなく、患者さんは急性期の治療が終わつて状態が安定するとそのままナーシングホームなどに移されるようです。患者さんのリハビリにかけるコストに見合つだけの生産性が社会復帰後に期待できるかというドライな考え方方がベースにあるのかもしれません。

春口 リハビリアフターコロナに向けた課題はありますか。

三石 この3年の間に患者さんの状態は低下しています。残念ですがリハビリを中断した時点の体力機能を取り戻すことは難しく、それに少しでも近づけることが治療

## NEWSな済生人 Interview

障壁をなくす「バリアフリー」にするのではなく、誰もがインクルーシブに生活できる社会へ



住民と一緒に健康を考える済生会フェアも“まちづくり”的一つ



多種職が関わるリハビリテーションだから情報共有は欠かせない

のポイントになります。

それにはどんな思いで患者さんに向き合っているのですか？

**三石** 私たちは患者さんに健康を取り戻してもらい、社会の生産人口を減らさない、というミッションを持っています。若年層だけでなく、高齢の患者さんでもまだ現役で働いている人もいます。

そんな患者さんの一人ひとりに「納税者として少しでも長く活躍してほしい」と願いながら日々の診療にあたっています。

**春口** すべての人々が地域社会で共に生きていく、「ソーシャルインクルージョン」の理念を実現する重要な資源の一つがリハビリなのであります。

**三石** リハビリは患者さん

の機能訓練だけでなく、社会参加への橋渡しの手段もあります。「まちづくり」のツールと言つても過言ではありません。

**三石** 第1段階は「多職種チームモデル」で、医師が他職種と情報を共有します。第2段階の「相互関係チームモデル」は多職種間で情報

を共有しますが、患者の状態に合わせて対応する職種が決まります。第3段階の「相互乗り入れチームモデル」では多職種が役割の枠を越えて

関わります。例えば、入浴のリハビリは通常は看護師が担当することが多いのですが、作業療法士も加わります。嚥下のリハビリは言語聴覚士、作業療法士を中心に看護師も関わります。

**春口** そのような段階があるのでね。

**三石** 当科では、患者さんの満足度を上げるために、スタッフの役割分担をある程度

決めた上で、全員が情報を共有し誰でも補助に回れるような、効率を重視した組織づくりを進めました。

**春口** カンファレンスも活発に行なわれてチームをまとめためにどんなことを心がけていますか。

**三石** 現在、一人の患者さんについて2週間に一回の頻度でカンファレンスを行なっています。合議制を重視しており、私は医師として発言しながら、ファシリテーターもしくはコーチとして、スタッフ全員が納得できるような進行を心がけています。

**春口** 目指すチームづくりはゴールに近づいています。

**三石** 私が当院に着任したのは2021年7月です。そのころは各メンバーが個々に機能する「多職種チームモデル」の初期段階だったと思います。そこでまず手がけたのは、患者のリハビリの最終目標を明確にすることでした。

**春口** 目指すゴールを共に実現するためには、まずは各メンバーが個々に機能する「多職種チームモデル」の初期段階だったと思います。そこでまず手がけたのは、患者のリハビリの最終目標を明確にすることでした。

**三石** 私が当院に着任したのは2021年7月です。そのころは各メンバーが個々に機能する「多職種チームモデル」の初期段階だったと思います。そこでまず手がけたのは、患者のリハビリの最終目標を明確にすることでした。

**春口** 現在、一人の患者さんについて2週間に一回の頻度でカンファレンスを行なっています。合議制を重視しており、私は医師として発言しながら、ファシリテーターもしくはコーチとして、スタッフ全員が納得できるような進行を心がけています。

**春口** カンファレンスも活発に行なわれてチームをまとめるためにどんなことを心がけていますか。

**三石** 現在、一人の患者さんについて2週間に一回の頻度でカンファレンスを行なっています。合議制を重視しており、私は医師として発言しながら、ファシリテーターもしくはコーチとして、スタッフ全員が納得できるような進行を心がけています。



【取材を終えて】

当院では、「リハビリといえば済生会」をモットーに取り組んでいます。三石副院長に話を伺い、リハビリテーションはフィジカルな訓練だけでなく、その先にあるイ

ンクルーシブな「まちづくり」を見据えている社会横断的な診療科だと改めて感じた取材でした。



# 川奈臨海学園 二つ目の「地域

## 小規模児童養護施設「あおば」を開所

新しい生活をスタート！



済生会で唯一の児童養護施設・**「静岡」川奈臨海学園は、令和5年4月、地域小規模児童養護施設「あおば」を伊豆急行線・伊豆高原駅近く、伊東市八幡野**

地域の中で  
子どもを育てる

〈静岡〉  
地域小規模  
児童養護施設  
**あおば**



地区に開所しました。地域小規模児童養護施設の開設は令和2年4月にオープンした「わかな」に次ぐ2施設目です。3月24日に行なわれた開所式を取りました。(本部広報室 河内淳史)

### 家庭的な養育環境を目指す

母体となる児童養護施設の支援

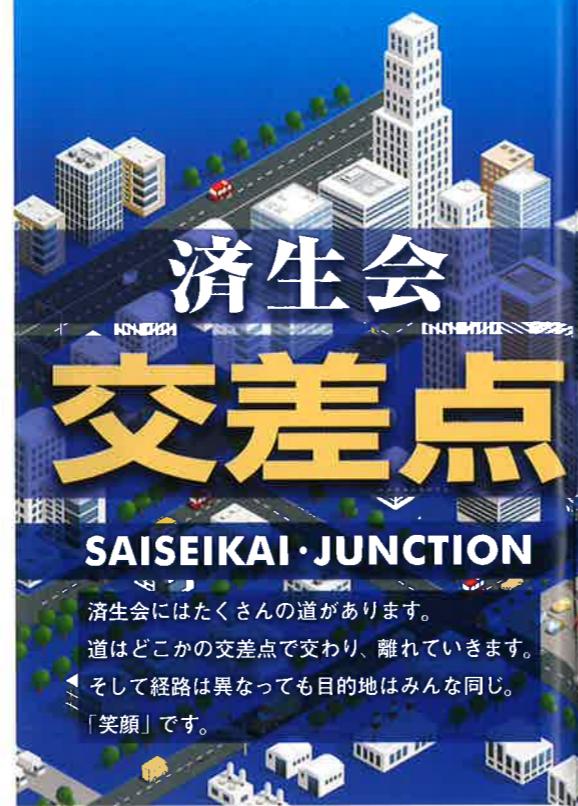
の下、地域の民間住宅等を活用して家庭に近い環境で養育する施設です。定員6人にに対し児童指導員や保育士等4人以上の配置が求められています。

国は乳児院や児童養護施設での養育を集團ではなく、小規模化で家庭に近い環境での養育を推進。施設数を増やすことでその機能を地域に分散化し、きめ細やかな養育を目指しています。

「あおば」にはこれまで川奈臨



出席者に子どもを紹介



男6人の夕食はボリューム満点



洗濯は自ら行なう。右は保育士

海学園で過ごしていた6人(小学生2、高校生4)が職員と一緒に新生活をスタートしました。常勤職員は5人。「あおば」専任です。この他、川奈臨海学園から応援の職員が派遣されることもあります。勤務体制は子どもの生活に合わせて組まれるため、早出、遅出、宿直勤務と様々です。

建物は伊豆半島でバス運行事業を行なう東海自動車が所有する物件(新築一戸建て)で、済生会は借り受けています。プライバシーに配慮した一人部屋の居室と食事をしたりゲームを楽しむ広々したリビングダイニングなどは一般の家庭と同じです。3月24日の開所式で、静岡県済生会の石山純三支部長は「駅や商店が近く自然豊かなところほしい。地域の皆様には職員と子どもたちがこの地域の一員として温かく迎え入れていただけようお願いします」と挨拶。八幡野地区の宮川正生区長は「この地区にある図書館を活用して勉強に励んでほしい。毎朝7時、小学校登校時の交通整理をしているので、子どもたちの



新救急車の披露目パレードで、近隣高校のエイサー同好会と商店街を縦断



商店街と協力して  
PR活動

目標額は1300万円。寄付依頼先と周知協力依頼先を選定し行動計画を策定。(1)約100カ所の地域の医療機関・企業

商店街イベントでPRに取り組みました。

筆者は(2)と(6)を担当。商店街との関係構築のために、商店街振興組合の古賀重朗理事長を訪問し、商店街各店舗への訪問許可・協力をお願いしました。古賀理事長からは「全面的に協力する」との言葉をいただき、80軒超ある店舗に案内をし

た硬貨を寄せた。地元のテレビ局にも取り上げてもらって、「高校生の孫がニュースを見て、一生懸命貯めている」と言っている。



地元商店街でのPRイベント。救急車をバックに記念撮影をする親子(左)、旧救急車をハロウィーンらしく飾り付けて展示

実行部隊の経営企画室メンバー

### 商店街と協力して PR活動

目標額は1300万円。寄付

依頼先と周知協力依頼先を選定し行動計画を策定。(1)約100

カ所の地域の医療機関・企業

商店街イベントでPRに取り組みました。

筆者は(2)と(6)を担当。商店街との関係構築のために、商店街振興組合の古賀重

朗理事長を訪問し、商店街各店舗への訪問許可・協力をお願いしました。古賀

理事長から

は「全面的に協力する」との言葉をいただ

き、80軒超ある店舗に案内をし

た硬貨を寄せた。

地元のテレビ局にも取り上げても

ら、高校生の孫がニュースを見

て、一生懸命貯めている」と言っている。

いと言っている。

クラウドファンディングに挑戦!

長崎病院  
経営企画室  
奥川政彦

## 地域の期待を乗せて走る救急車 住民との絆を再確認

長崎病院は、長崎医療圏の東部に位置する救急・急性期病院です。当医療圏内で大学病院に次ぐ救急患者を受け入れ、災害拠点病院、DMA-T指定病院でもあります。

当院の救急車は熊本地震の際にも出動し地域医療を支えていましたが、老朽化が進んだことから買い替えが急務でした。そ

こで、2021年10月に救急車購入資金を得るためのクラウドファンディング(CF)をREAFYFOR社の支援のもと開始。2021年11月に目標金額を達成し、22年6月に新しい救急車を購入しました。

「ダメもとでやってみよ!」  
きっかけは、久保山雅弘事務

部長が、救急医療を担う人材確保のための資金を募る大阪府三島救命急救センターのCFを目にしたこと。久保山事務部長の指示で、医療機関の取り組み事例や支援会社の研究・検討を進め、救急車購入資金を得るためのCFに挑戦することになりました。

経営陣からの「ダメもとでやってみよ!」との後押しで筆者

が決意を固めました。



子どもたち以上にエネルギーッシュな川奈臨海学園の職員。右は竹居施設長

川奈臨海学園は伊豆半島の東岸中部、伊東市にあります。68年前の昭和30年10月、虚弱児施設としてスタート、最も多いときは80人近くの子どもが入所していました。平成10年の児童福祉法の改正施行で児童養護施設に移行。令和2年4月に地域小規模児童養護

皆さんとは「ゲータッチ」で元気よくあいさつしたい」とエールを送りました。

### 児童養護施設 済生会で唯一の

川奈臨海学園の竹居施設長は「関係者の皆様のおかげで立派なお家ができました。このような縁を大切にして地域の皆様に見守られながら子どもたちと楽しく暮らしていきたい」と話しました。





当施設には、医師1人（施設長）、看護師9人、介護福祉士

### 最期までその人らしく

8人（うち1人は介護支援相談員兼務）、介護員1人が在籍しています。週2回の入浴などの日常ケアのほか、血圧や体温などの観察や体重管理、定期的な血液検査等を行ない、その結果を医師、職種で毎日共有。医学管理や栄養管理のほか、離床やベッド上でのリハビリ、楽な姿勢の保持と褥瘡予防にも努めています。

近年は、看取り希望で入所される方が多く、入所時から介護支援相談員を中心定期的な看取りカンファレンスを行なっています。ここでは利用者さんとその家族、医師、ケアマネジャー、理学療法士、栄養士などが参加し、状態把握や看取りケアの方針を決定します。

さまざまなおもてなしや行事で、例えばコーヒー好きの方の居室にはコーヒーの香り袋を設置し、香りで部屋が包まれるようになります。孫の写真をたくさん飾り、孫の声を録音して聞いていました。

開設当初は併設病院からの入所が中心でしたが、徐々に近隣の病院や施設からの問い合わせや入所



職員が鬼とおかめに扮した節分行事（2023年2月15日開催）

## 地域のための 介護医療院

（鳥取）  
介護医療院なでしこ境港  
看護師長  
畠中希美



## 手厚い医療ケアで、最期まで 家族と本人に寄り添う

（鳥取）境港総合病院は、重度の要介護者に医療や看護ケアを提供する施設です。看護師9人、介護福祉士1人、医師1人（施設長）が在籍しています。

ア、リハビリ等を提供し、在宅復帰を目指す介護療養型老人保健施設「サテライトはまかぜ」を平成20年から運営してきました。しかし、終末期医療や看取りが必要といった理由から、在宅や施設への退院が困難な長期入院患者が増加。その受け入れ先として令和元年9月、サテライトはまかぜは介護医療院「なでしこ境港」に転換しました。

当施設の利用は、経口摂取が

ア、リハビリ等を提供し、在宅復帰を目指す介護療養型老人保健施設「サテライトはまかぜ」を平成20年から運営してきました。しかし、終末期医療や看取りが必要といった理由から、在宅や施設への退院が困難な長期入院患者が増加。その受け入れ先として令和元年9月、サテライトはまかぜは介護医療院「なでしこ境港」に転換しました。

当施設の利用は、経口摂取が

ア、リハビリ等を提供し、在宅復帰を目指す介護療養型老人保健施設「サテライトはまかぜ」を平成20年から運営してきました。しかし、終末期医療や看取りが必要といった理由から、在宅や施設への退院が困難な長期入院患者が増加。その受け入れ先として令和元年9月、サテライトはまかぜは介護医療院「なでしこ境港」に転換しました。

当施設の利用は、経口摂取が



と本人に代わり、おじいちゃんが当院に持つて来てくれたケースもありました。普段は感じられないことが少ない地域の方からの応援の気持ちが、形となって現われ、職員みんなの心は温まりました。

当院が挑戦したCFは、病院への直接寄付を含め525人の寄付を受け、総額1588万4817円を達成。納車後は、新救急車のパレードとして8月の夏祭りで商店街を縦断しました。その際「乗ってみたい！」との声を受け、10月のハロウィーンでは乗車体験を実施。救急車から降りたなくて泣く子や、「乗

## 地域と病院をつなぐ 救急車

当院にやつてきた救急車は住民や商店街と当院をつなぐ懸け橋となっています。多くの方に支援をいただき、みなさまから感謝の声をたくさんいたしました。今後も住民の安心を守るために地域の救急医療に貢献していきます。



れて感激です！」と子ども以上に喜ぶお母さん、「来年も楽しむ」といった声をたくさんいたしました。

当院にやつてきた救急車は住民や商店街と当院をつなぐ懸け橋となっています。多くの方に支援をいただき、みなさまから感謝の声をたくさんいたしました。今後も住民の安心を守るために地域の救急医療に貢献していきます。

と本人に代わり、おじいちゃんが当院に持つて来てくれたケースもありました。普段は感じられないことが少ない地域の方からの応援の気持ちが、形となって現われ、職員みんなの心は温まりました。

当院が挑戦したCFは、病院への直接寄付を含め525人の寄付を受け、総額1588万4817円を達成。納車後は、新救急車のパレードとして8月の夏祭りで商店街を縦断しました。その際「乗ってみたい！」との声を受け、10月のハロウィーンでは乗車体験を実施。救急車から降りたなくて泣く子や、「乗



地域への情報提供を目指してウエルシアと共に開催している「なんでも相談会」は、様々な工夫により参加者が増えてきています。

そのため興味を持つてもらおうと、相談会で健康測定、障害者スポーツの実演、静岡医療福祉の実演、静岡医療福祉

を開催。コロナ禍では対面からオンライン研修に切り替えましたが、研修に参加しやすくなり、今では2カ月ごとに実施しています。会の発足時には県が地域包括ケアの推進に向けて市町と民間事業者等をつなげることを目的とした「生活支援介護予防マッチング事業」に参加しました。その結果、地域のニーズを連携士が把握していないということに気づきました。そこで、直接支援を必要としている人の声を聞くため、分野にこだわらない「なんでも相談会」を開きました。

記念すべき一回目は2021年12月、静岡済生会総合病院で開催。病気以外でも障害に関する相談や、「行動やお金の管理ができないか?」「拒食症に達に問題はないか?」「借金を作ってしまう。法人内が支援するサービスについてなど、住民にとって身近な場所で、相談しやすい環境で開催できないかと感じた連携士の発案でドラッグストア「ウエルシア」との共催企画が立ち上がり、2022年9月には、近隣の「ウエルシア」で「なんでも相談会」を実施しました。しかし、買い物のために来店する方がほとんどで、相談会には誰にも足を止めてもらえませんでした。

そのため興味を持つてもらおうと、相談会で健康測定、障害者スポーツの実演、静岡医療福祉

の実演、静岡医療福祉



「なんでも相談会」の会場「ウエルカフェ」は、「情報発信の場」としてウエルシア内に設置されたフリースペース

視覚障害者のマッサージ施術の訓練も兼ねたサービス。買い物ついでにマッサージが受けられ、多くの人が集まっています。

## 「ワンストップで支援につなぐ」を目指して 済生会地域包括ケア連携士、日々奮闘中

施設の垣根を越えて  
静岡県済生会  
財務課 副主任  
村上佳代子

しかし、近年は相談内容が複雑化・多様化し、一つの施設では解決でききないケースが増加しています。北海道の親子孤立死事件（2018年1月）や元農水事務次官長男殺害事件（2019年6月）など、ニュースで大きく取り上げられた「8050問題」がその一例です。

こうした状況を受け、2019年6月、県支部事務局の声かけで支



支部内各分野の済生会地域包括ケア連携士12人が集結

多職種・多機関で連携して、「ワンストップサービス」で相談業務ができるのか——。キックオフの会議では、「支援が届かない制度の「狭間」の人や身寄りのない人をどう支援するか」「施設間の垣根を越え、地域や分野にとらわれない総合相談窓口の設置が必要」「済生会がしたい」「相互利益の関係づくりが大切」などさまざまな視点で対応策を議論しました。

まずは各自の専門分野以外への理解が必要と考え、勉強会



地域包括ケア委員会は子ども食堂を、NPO法人静岡市子ども食堂ネットワークと共に運営。右写真は役割分担を話し合う地域包括ケア連携士とNPO法人担当者。左は「(障害者スポーツ)のボッチャが楽しかった」と会話する利用者

が増えており、地域になでしこ境港が少しづつ根付いています。しかし、コロナ禍で地域との

交流ができない状態が続き、病院ホームページを利用した介護士10人が活動を開始するために集合。「静岡県済生会地域包括ケア未来構想委員会」（現「地域包括ケア委員会」）がスタートしました。

節拘縮予防のリハビリ記事の掲載をしています。今後は、コロナの制限緩和に伴い、市と共同で介護教室を開

く予定です。介護医療院見学会を開催するなど、なでしこ境港がさらに地域に必要とされる施設となることを目指します。



2年に1度のチャンス!!

**ふるって傑作を**

採用者には、図書カード  
**¥50,000分**進呈

**2024-2025  
カレンダー  
なでしこ  
写真募集**

応募宛先  
**koho@saiseikai.or.jp**

問い合わせ電話  
**03-3454-3087**

締切  
**9月15日(金) 17時  
必着**

写真はデジタルデータに限ります。  
詳細は下欄をご参照ください。

以下の要領で応募を受け付けます。採用された人には5万円分の図書カードを進呈します ●絵柄=題材の「なでしこ」は自生・栽培種のいずれでも可。大きく引き延ばすので正確なピントと適切な露光を ●構図=横。画面に撮影の日付が入っているものは不可 ●写真の規格=写真はデジタルデータに限り、サイズは1MB以上 ●応募方法=データをメールに添付するかCD等に記録して郵送。データ量が大きすぎるとメール送信ができない場合があるので注意。CD等は返却しない ●応募資格=済生会施設の職員のほか、その家族、施設でのボランティアやアルバイト。職員以外の場合は、職員との関係を明記 ●応募点数=ひとり1点 ●応募先=〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル21階・本部広報室まで。電話=03-3454-3087 メール=koho@saiseikai.or.jp ●締切=9月15日(金) 17時必着

\*応募作品は採用結果にかかわらず法人ホームページや施設のパンフレット等に使う可能性があります。

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。  
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。  
だれも排除されないまちづくりを目指し、  
全支部・施設が1696事業を展開します。



## 災害時用備蓄食品を寄贈

## 食品とともに“心”を届ける

### 〈山口〉下関総合病院

下関総合病院は3月22日、森健二院長出席のもと、消費期限の近い災害時用備蓄食品をNPO法人フードバンク山口に寄贈しました。



NPO法人フードバンク山口下関地区の代表理事を務める当院麻酔科の大城研司医師は、「自分の職場からもた

缶入りの豚汁や若鳥の照り煮など836缶、野菜ジュース288本。

なでしこプランの一環として今年度から開始した事業で、今回寄贈したのは、

フードバンクの需要が急速に高まる中、宇都宮病院でも職員に寄付を1週間募つて集まつた食料品を、4月12日、フードバンクうつのみやに寄付しました。

現在、世界的な物価上昇や

気料金の値上げなどで、多くの

フードバンクの需要が急速に高まる中、宇都宮病院でも職員に寄付を1週間募つて集まつた食料品を、4月12日、フードバンクうつのみやに寄付しました。現在、世界的な物価上昇や気料金の値上げなどで、多くの

フードバンクの需要が急速に高まる中、宇都宮病院でも職員に寄付を1週間募つて集まつた食料品を、4月12日、フードバンクうつのみやに寄付しました。現在、世界的な物価上昇や気料金の値上げなどで、多くの

フードバンクの需要が急速に高まる中、宇都宮病院でも職員に寄付を1週間募つて集まつた食料品を、4月12日、フードバンクうつのみやに寄付しました。現在、世界的な物価上昇や気料金の値上げなどで、多くの

## 食料品の枯渇にはフードバンクが有効

### 〈栃木〉宇都宮病院

世帯で生活が苦しくなっています。当地域も同様

の状況で、つなサ

ボの協力団体でもあるフードバンク

うつのみやは、「食

料品が枯渇してい

る」と広く寄付を

呼び掛けています。

稻見一美地域連携課長(MSW)

も、「生活がぎり

ぎりの人たちは、

これまでかなり

無理をして家計を

回してきたと思い

ますが、今回の急

激な物価高で、行

政のサービスを待

つている時間もな

い状態です。その

中でスピード

に支援の手を差し

伸べられるフード

バンクは非常に有

効。今後も引き続

くさんの支援をいただけたことに感謝。食品とともに“心”を届けられるよう、有効に活用させていただきたい」と喜んでいました。

下関市では、コロナ禍前には5カ所だった子ども食堂が、現在は25カ所以上に増えました。困窮世帯が増加する中、支援の輪が求められています。これからも、すべての人が食に困らない持続可能な社会の構築のため、活動を継続していきます。

(医療ソーシャルワーカー 森脇千夏)



き連携・協力していくたい」と話しています。

秋山綾香

## 誰でも気軽に集まれる居場所づくり 段ボールハウスも大人気

〈新潟〉特養長和園 事務主任 西川まゆみ

昨年5月に始めた地域貢献活動「みんなの居場所 まんなかテラス」

度済生会生活困窮者支援事業優良事業補助金を交付いただきました。

みんなかテラスは年齢や立場などを問わず、誰でも集まってやりたいことをやろうという居

テラス」にこのたび、令和4年度済生会生活困窮者支援事業優良事業補助金を交付いただきました。

最近では、参加者さんが段ボールハウスを作りし、なでしこ青空保育園にプレゼント。その評判が口コミで地域に広まり、市内の障害者施設から注文をいただいて二つ目を作成中です。

補助金の評価・期待に応えら

活動も行なっています。



### 支援会議や研修をオンラインで 矯正施設退所者等への社会復帰支援

福井県地域生活定着支援センター センター長代行

山口潤一

第三次なでしこプラン

# 令和4年度 済生会生活困窮者支援事業

## 優良事業報告書

支部	施設名	事業名	交付額 (単位:円)
1 新潟	特別養護老人ホーム長和園	みんなの居場所 まんなかテラス	2,009,222
2 福井	福井県地域生活定着支援センター	地域生活定着促進事業	227,900
3 愛知	愛知県済生会リハビリテーション病院	在日外国人児童生徒への医療支援事業	262,878
合計額			2,500,000



場所。現在は主に高齢者・若年性認知症・障害者の就労準備やコミュニケーションの場になります。また、PT・歯科衛生士・管理栄養士・保健師ら専門職による健康講座も開催し、健康の維持・増進や介護予防の



福井県地域生活定着支援センターは、県からの委託を受け、高齢または障害により福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者・退所者の社会復帰のための支援を行なっています。矯正施設入所中から退所後まで一貫して関わり、支援をすることにより、再犯防止につなげることが目的です。

当センターでは矯正施設入所中に対象者と面接を行ない、退所後の希望や困りごとを確認。

当センターでは矯正施設入所後に希望や困りごとを確認。

し、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対象者の面接はオンラインが主流となりました。また、研修等による啓発活動も、対面からオンラインによる実施に切り替わりました。

オンラインでの実施当初は、映像が映らない、音声にノイズが入るなどの初步的なミスも多く、参加者のみなさんはご迷惑をかけするばかりでした。

みなさんによりよい環境で受講していただけるよう、機器の操作に詳しい人に教えてもらいながら、改善を繰り返してきました。当センターは令和3年4月から、不起訴や執行猶予などにより釈放となる高齢者や障害者を作に詳しく人に教えてもらいました。

対象とした「被疑者等支援業務」を新たに開始しました。この業

務は、矯正施設退所に向けた支援とは異なり、釈放までの短い期間で支援方針を定め、関係機関との情報共有などを行なうことが必要となります。しかし、支援を行なう対象エリアは県内全域と広範囲に及ぶため、移動時間を考慮すると支援会議の開催も容易ではありません。オンラインでの支援会議を試みましたが、センターが所有する機材

のみでは開催が難しい状況でした。今回、令和4年度済生会生活困窮者支援事業優良事業補助金が交付されたことで、液晶ディスプレイ・会議用カメラ・スピーカーフォン等を購入することができます。これらの機材を用いて、令和5年度からはオンラインでの支援会議や研修会を行なっています。しか

検査を2日間に分けて行ないました。その後、健診結果を踏まえて医師による診察を11月4日に実施。血液・尿検査や診察で異常がみられた児童生徒に対して診療情報提供書を作成し、学校の先生と連絡を取って医療機関への受診を勧めてもらいました。

健診実施の際は、日本語が話すことができました。これらの機材を用いて、令和5年度からはオンラインでの支援会議や研修会を行なっています。

持つてもらえばと思います。コロナ禍による延期もあり、学校との調整が大変でしたが、大きな問題もなく学校健診を終えることができました。

今後も引き続き、さまざまな交流を図りながら関係各所と連携をとり、みなさんに健康な生活を送っていただけるよう事業に取り組んでいきたいと考えています。

今後も引き続き、さまざまな交流を図りながら関係各所と連携をとり、みなさんに健康な生活を送っていただけるよう事業に取り組んでいきたいと考えています。

日本では学校保健安全法により学校での健康診断が義務付けられていますが、在日外国人学校は法の適用外になっています。そのため、在日外国人学校は自ら運営校に通学する児童生徒を対象に無料健康診断を行なっています。

令和元年度には事業を年間3校実施にまで拡大。3校目とな

るブラジル人学校・イエエーエス農田（愛知県豊田市）にて学校健診を開始しましたが、その後の新型コロナウイルス感染拡大により、実施できない時期が続きました。

今回、令和4年10月から11月にかけて、同校での2回目の学校健診を3年ぶりに実施しました。当院からは医師2人・看護師8人・検査科2人・事務4人の合計16人が参加し、生徒235人に対して身長・体重測定、血液検査、尿検査、視力検査を行なっています。

今年度は、医師2人・看護師8人・検査科2人・事務4人の合計16人が参加し、生徒235人に対して身長・体重測定、血液検査、尿検査、視力検査を行なっています。

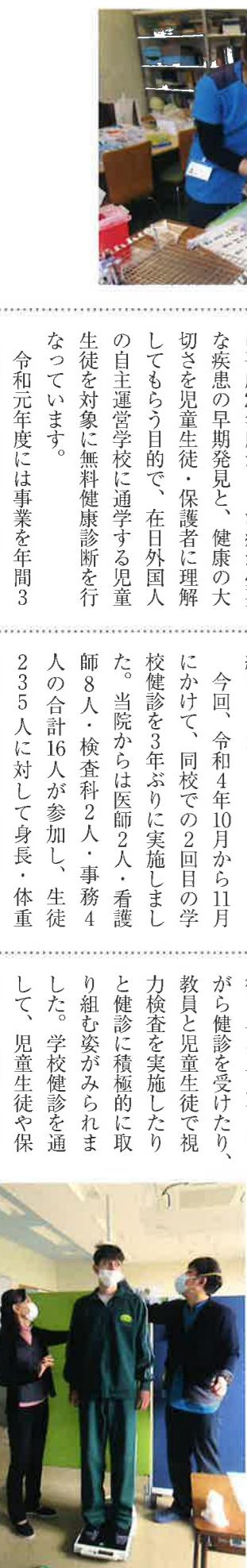
健診実施の際は、日本語が話せる児童生徒に通訳を依頼。生徒同士で協力しながら健診を受けたり、教員と児童生徒で視力検査を実施したりと健診に積極的に取り組む姿がみられました。学校健診を通して、児童生徒や保護者にも健康に关心

れるよう、この活動をさらに地域へ広めていきます。



## 在日外国人学校での学校健診 コロナ禍により3年ぶりの実施

愛知県済生会リハビリテーション病院 医療福祉・地域連携室 渡邊祐実



日本では学校保健安全法により学校での健康診断が義務付けられていますが、在日外国人学校は法の適用外になっています。そのため、在日外国人学校は自ら運営校に通学する児童生徒を対象に無料健康診断を行なっています。

令和元年度には事業を年間3校実施にまで拡大。3校目とな

るブラジル人学校・イエエーエス農田（愛知県豊田市）にて学校健診を開始しましたが、その後の新型コロナウイルス感染拡大により、実施できない時期が続きました。

今回、令和4年10月から11月にかけて、同校での2回目の学校健診を3年ぶりに実施しました。当院からは医師2人・看護師8人・検査科2人・事務4人の合計16人が参加し、生徒235人に対して身長・体重測定、血液検査、尿検査、視力検査を行なっています。

今年度は、医師2人・看護師8人・検査科2人・事務4人の合計16人が参加し、生徒235人に対して身長・体重測定、血液検査、尿検査、視力検査を行なっています。

健診実施の際は、日本語が話せる児童生徒に通訳を依頼。生徒同士で協力しながら健診を受けたり、教員と児童生徒で視力検査を実施したりと健診に積極的に取り組む姿がみられました。学校健診を通して、児童生徒や保護者にも健康に关心

れるよう、この活動をさらに地域へ広めていきます。

# 藤田朋子

Tomoeko Fujita



Vol. 156



デビューから35年、

女優として円熟期を迎えた今も変わらない、

明るく人懐っこい笑顔で登場してくれた藤田朋子さん。

最新映画では初の老けメイク、しかも認知症を患う難役に挑戦。

撮影当時の複雑な心境や、藤田さんの人生を変えた人物について、お話ししていただきました。

## 震災で負った内面の傷、介護、認知症：心の葛藤の先に真実が見えた

Text: みやじまなおみ  
Photos: 安友康博

Hair & Make-up: 伊藤千栄子



**ふじた・ともこ** 1965年生まれ、東京都出身。87年、ミュージカル『レ・ミゼラブル』で女優デビュー。翌年、NHK連続テレビ小説「ノンちゃんの夢」のヒロインに抜擢され、一躍人気女優に。90年スタートの「渡る世間は鬼ばかり」シリーズでは当初から30年近くレギュラー出演した。2005年、アコディオン奏者・桑山哲也さんと結婚。89年、歌手としてもデビューしており、6月15日南青山マンダラにてライブ予定。また、公私ともに仲の良い女優の小林綾子さんとユニットを組み、桑山氏も出演する朗読＆音楽ライブを定期的に開催しており、次回は8月25日に上演予定。

「実は私の父も認知症でした。演じながらどこかで自分の未来を揺さぶる作品となつた。劇中、その姿が観る人にとって信じられない。でも、自分がいつの間にか小田由美子という女性になれたと思います」

震災で心に傷を負った主人公が、ある出会いをきっかけに前を向いて歩き出す。そのキーマンを演じた藤田朋子さん。重い認知症を患った主人公の恩師を演じるに当たっては、葛藤もあつたという。

「震えといった症状が出てくるんじやないか……そんな不安の中、その姿が観る人にとって信じられる世界をつくりあげ、心を予想してしまい、この役をきっかけに本当に記憶障害や手の動きが悪くなるのを見るのは、とても辛い。でも、これほど人生を楽しんでいる自分はいません。いつか女性になれたと思います」

由美子が主人公に語りかける言葉「あなたに会えて本当によかった」は、そのまま映画のテーマともなっているが、藤田さんにとっての「会えてよかったです」と即答。「彼に会っていなければ、これほど人生を楽しんでいたくはいません。いつか女性になれたとしても、最期までずっとそばにいてほしいですね」

プライベートでは、5年ほど前からリサイクル着物にハマっているのだと。この日のコーディネートは、春らしい蝶々柄の小紋に愛犬と同じフレンチブルドッグ柄があしらわれた帯。「新緑の季節、この着物を着て、緑に囲まれた美術館に行きたいな！」と笑顔の藤田さん。その傍らにはきっと最も愛の人がいるに違いない。



### 映画『こわれること いきること』

東日本大震災で家族を失い、たった一人生き残った遙が、絶望の淵から希望を見出し、成長していくヒューマンドrama。深い喪失感のなか、地元の介護施設で働き始めた介護士・遙の心は虚しさであふれていた。そんなある日、高校の恩師で吹奏楽部顧問だった小田由美子が夫に付き添われて入居してくれる。しかし、彼女は重い認知症を患っていた……

■監督・脚本・編集: 北沢幸雄

■出演: 吉田伶香、藤田朋子、宮川一朗太、斎藤暁、寺田農ほか  
5月19日(金)よりまちばれいわきにて先行公開、5月26日(金)よりシネスイッチ銀座ほか全国公開



衷のお菓子を作っているのは、静岡の前田金三郎商店。製茶問屋から始まり、今では静岡市内に日本茶とお菓子の「茶町KINZABURO」というお店も出しています。

2階のイートインコーナーでは、1階で購入したスイーツとともに、常時10種類以上のお茶を試飲することができます。こ



済生会の【病院・施設】がある  
県内の市町村

**30** 年ほど前、取材で静岡の茶畠を訪ねたことがあります。富士山のすそ野に広がる緑が目に鮮やかな茶畠は、これぞ東海道さつての美観。同行した年配のカメラマンが、わずかな滞在時間のぎりぎりまであちこち飛び回り、シャッターを切りまくっていたことを思い出します。

### 静岡自慢の抹茶とワッフルの出会い

唱歌でもおなじみの「夏も近く八十八夜」の新茶のシリーズにちなみまして、今回は静岡県産のお茶を使った洋菓子「茶つふる」をご紹介。忙しい毎日にはっと一息ついていただける

ような銘茶の香りを皆様の元へお届けしましょう。  
抹茶+ワッフルという和洋折

さすがは老舗の  
製茶問屋。前田金三郎商店には全国茶審査技術競技大会の優勝経験者で、テレビ番組でお茶通王の座を勝ち取り、お茶に関する著書も書かれている茶匠・前田富佐男さんがいて、飲むお茶だけでなく、スイーツの材料となるお茶に至るまで、厳しい目で選び抜かれたものなのです。

「茶町KINZABURO」には、抹茶をメインに使ったもの以外にも、いちごやレアチーズ、チョコ、安倍川など、美味しいそうな「茶つふる」が揃っており、彩り豊かな組み合わせも捨てがたい、と迷いました。しかし、ここ静岡は何と言つてもお茶の名産地。そこで、県内の生産地によって異なる抹茶の味わいをスイーツで食べ比べできるセットを選択しました。

同じ静岡産の抹茶なんだからそんなに味は違わないんじゃないの?と思ったあなた、こちらをひと口召し上がつてからおっしゃっていただきたい。この微妙な差異を味わえてこそ、「違いがわかる大人」なのであります。

**68** 茶つふる《KINZABURO》  
茶町  
静岡市



製茶問屋では、農家などから荒茶(摘んだ茶葉を揉んだり乾燥させたりしたもの)を買い付け、製茶(大きさの調整、焙煎、ブレンド等諸々の作業)をして出荷。前田さんは視察のため、年間を通して各地の茶畠へと向かう

よしい・せいいち 一般社団法人日本作詩家協会理事。コピーライター時代に老舗百貨店の食の通販誌で約30年執筆に携わり、試食した食品の数は1万点を超える。



茶匠・前田富佐男さん  
茶から。こちらは香りと渋みのバランスが絶妙で、とろけるクリームの中からこれぞ抹茶という旨みがあふれ出てくる感じ。鹿の子豆が入っているので、見た目も食感もスイーツ感を楽しめます。

次に、大井川沿いで育った  
茶の「天竜茶」。旧東海道の宿場町で室町時代から茶の栽培をしていました。茶園が仕上げた「岡部茶」。まずは、家康公好みの「本山



「川根茶」。  
こちらはま  
ず香りの良  
さが際立つ  
ています。

川根抹茶のクリームにくまれてある粒あんが、お茶の品のある苦みを引き立ててアーモンド風味になっています。



お店の2階は静岡茶を試飲できるくつろぎ空間

の「天竜茶」は、この中で抹茶の濃度が最も高いとあって、奥深く濃厚な味わいで、抹茶そのもの味としてはこの中で一番印象を持ちました。

最後に、歴史ある「岡部茶」。浜松育ちの「天竜茶」は、この中で抹茶の濃度が最も高いとあって、奥深く濃厚な味わいで、抹茶そのもの渋みをストレートに味わうことができます。それでいてすつきりした味わいと香りの余韻につきまれば、後を引きます。

最後に、歴史ある「岡部茶」。浜松育ちの「天竜茶」は、この中で抹茶の濃度が最も高いとあって、奥深く濃厚な味わいで、抹茶そのもの渋みをストレートに味わうことができます。それでいてすつきりした味わいと香りの余韻につきまれば、後を引きます。

最後に、歴史ある「岡部茶」。浜松育ちの「天竜茶」は、この中で抹茶の濃度が最も高いとあって、奥深く濃厚な味わいで、抹茶そのもの渋みをストレートに味わうことができます。それでいてすつきりした味わいと香りの余韻につきまれば、後を引きます。

茶つふる静岡抹茶味比べセット  
[本山茶つふる・天竜茶つふる・岡部茶つふる・川根茶つふる 各2個/計8個]

2,322円(税込・送料別)

賞味期限……冷凍1カ月

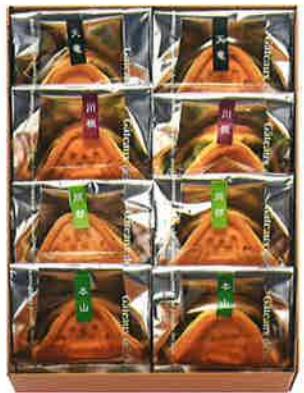
### お取り寄せ・お問い合わせは

茶町KINZABURO 〒420-0018 静岡県静岡市葵区土太夫町27

TEL: 054-252-2476

営業時間: 平日 9:30~18:00 日・祝日 10:00~17:00 (定休日: 水曜)

ホームページ: <https://kinzaburo.thebase.in>

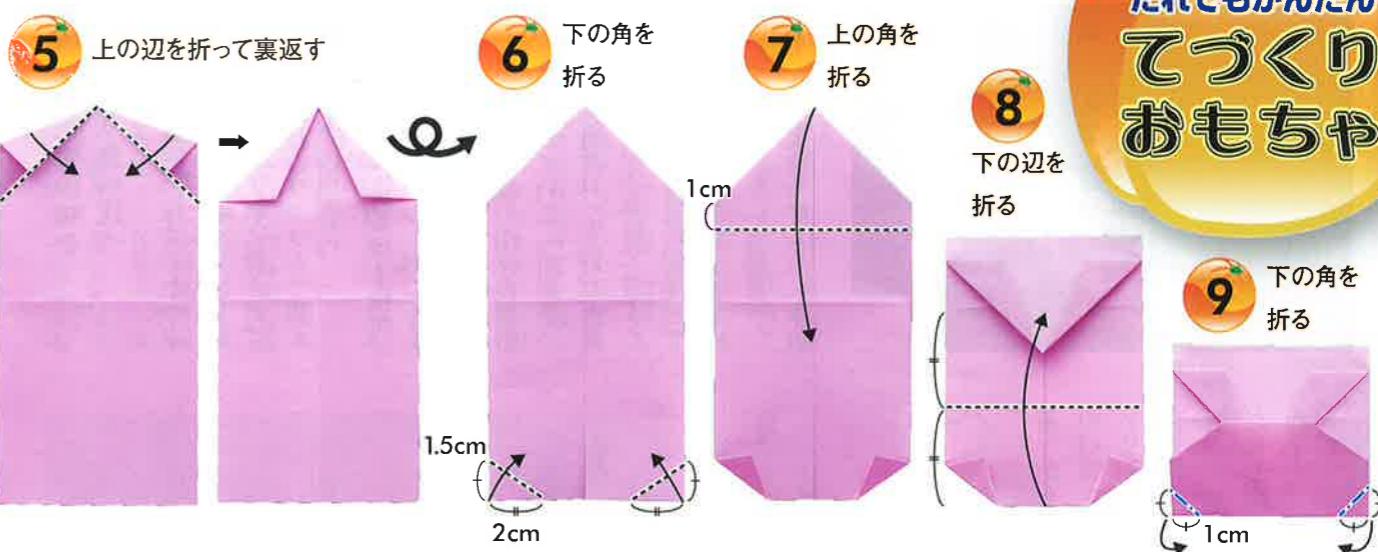
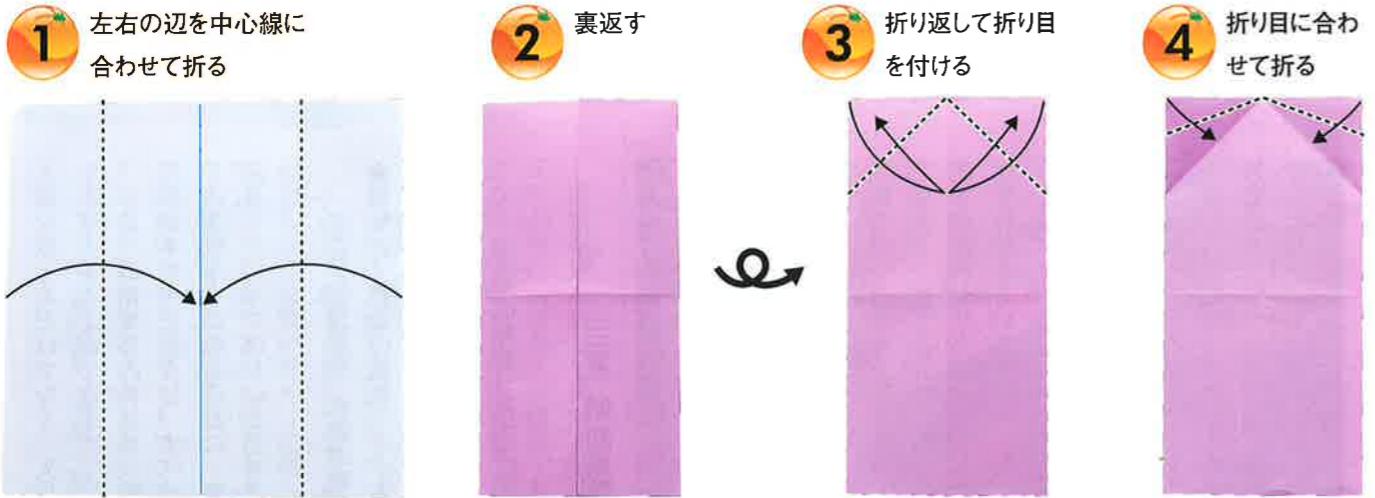


# めくってたのしい! アニマルレター

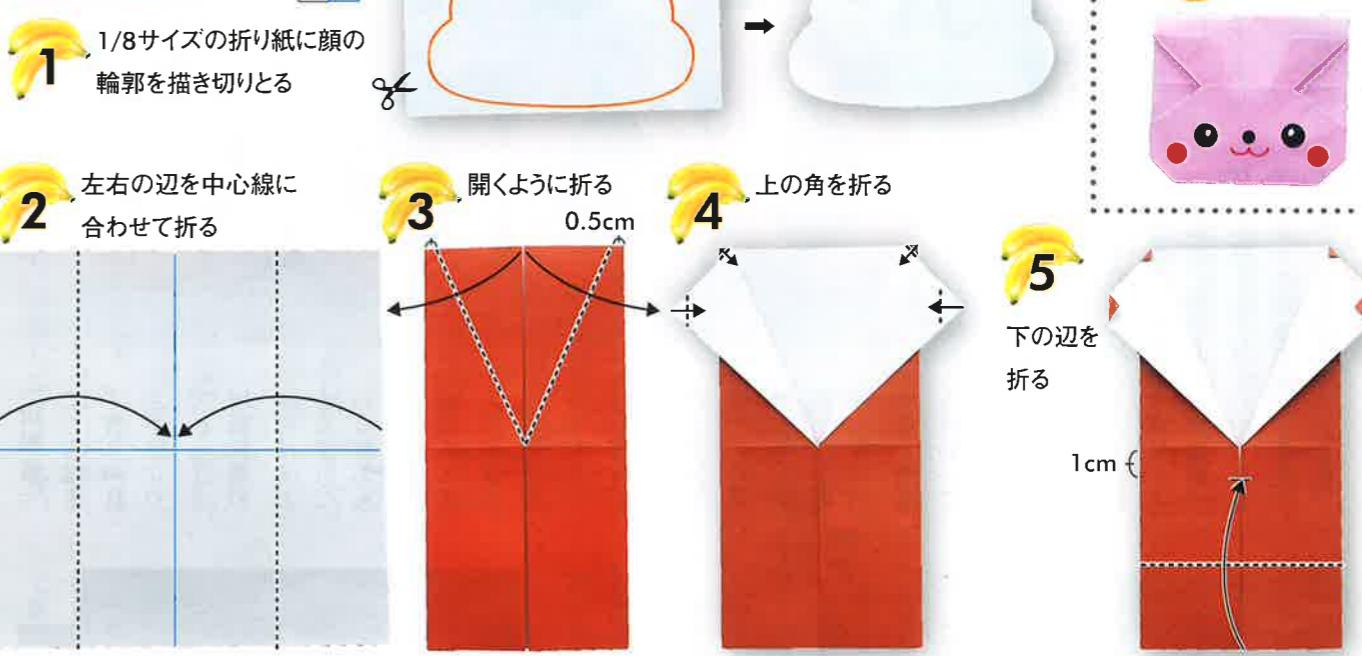


山折り  
谷折り  
裏返す

## うさぎ



## さる



メッセージを書いて  
大切な人に送ってね♡



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に『春夏秋冬で楽しめる おりがみ壁飾り』など37冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。「季節のイベント折り紙」(日東書院)など多数。



動画もcheck!

作品・折り図:いまいみさ おりがみ協力:株式会社トヨー

だれでもかんたん  
てづくり  
おもちゃ



動画もcheck!



患者さんの“生きる力”と、市民・救急隊・病院スタッフの“救う力”で助かった命の物語。  
患者と医療従事者が一つになった京都済生会病院のエピソードを紹介します。

# topics

## 『救命の連鎖、に感謝』

**京都済生会病院**

「感謝！ 心筋梗塞によって救急搬送された病院が京都済生会病院でした」  
この患者さんは79歳男性。心筋梗塞発症後に心肺停止に陥ったにもかかわらず、脳機能障害もなく1カ月後に完全に社会復帰しました。

自宅で胸の痛みを訴え、その後意識を失い、家族が救急要請してから病院到着まで25分。この間、AEDによる電気ショックが5回行なわれました。

当院救急室に到着後、気管内挿管、各種薬剤の投与、電気ショックなどを実施、直ちに緊急救命対応がしっかりと行われました。その後、心不全に陥りましたが、それでも乗り越えて退院されました。

「初期救命対応がしっかりと行われ、一般市民、救急隊からメイクアップスタッフにいたるまでの“救命の連鎖”がつながると、

人命を救えるだけでなく、人生をも変えることができる」  
石橋一哉循環器内科部長・副院長は本事例を紹介し、すべての医療従事者が救命活動に一層邁進していくほしと語りました。

(企画広報室長 松岡志穂)  
★ 地域が“救命の連鎖”をすることで、そこに住む人や街を救うことができるのですね。

(本部広報室 河内淳史)

**（三重）明和病院**

## ウクライナ傷病者にリハビリテーション

三重県内の医療関係者らで構成するNPO法人「SunPanSa（サンパンサ）」の依頼を受け、当院ではウクライナから来日した傷病者（30～50代）に対し、義手の探型やリハビリテーションを提供しています。

このほど、整形外科で義肢を専門とする加藤弘明医師が受けた計測や探型を実施しました。今後、当院では4カ月から5カ月間のプログラムで、週2回のリハビリテーションを予定しています。

作業療法士・中島友香課長は「救療済生」の理念に基づき、ウクライナの患者さんに適切な医療を提供していきたい」と語りました。

なお、NPO法人では医療費などをため、5月26日までクラウドファンディングで治療費を募っています。みなさまのご協力をお願いします。

（済生記者 藤岡拓人）



## 今年もフォトコンテスト

「第8回フォトコンテスト」を1月下旬～3月下旬に開催し、1階ホールには80枚ほどの写真が掲示されました。展示した作品は、昨年1年間に撮影した写真からエントリー。「笑顔」「いきいき」「ふれあい」「アングル」「テーマ」の5部門に分けて公開しました。

（済生記者 小山友輝）

フの役割分担、器材の準備など、さまざまな課題が浮き彫りとなりました。人命に関わる重要な課題なので、一刻も早く解決できるよう取り組んでいきます。

展示した作品は、昨年1年間に撮影した写真からエントリー。「笑顔」「いきいき」「ふれあい」「アングル」「テーマ」の5部門に分けて公開しました。



開催期間を通して掲示した後、4月上旬に入居者・利用者・職員の投票で優秀賞を決めました。開催の目的は二つあり、一つは「心を打つ良い写真の追求」もう一つは「広報への活用」です。この取り組みを始めてから撮影する写真枚数が増え、広報への活用や写真の管理に関する意識付けが増しました。

継続は力なり。フォトコンテストは今後も続けていきます。

（済生記者 高橋睦）

3月22日に「コードブルー訓練」を実施し、医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師、検査技師、事務職員など院内の多職種10人以上のスタッフが参加しました。

訓練は、認知症が疑われる高齢の来院者が倒れ、心静止の状態になるという設定。付き添い

が集まり、一気に緊迫した空気が広がりました。胸骨圧迫を絶え間なく行ない、気管挿管、点滴投与、ポータブル撮影、電気ショックといった本番さながらの処置を約30分間続けて訓練は終了。

初めての訓練だったこともあり、指示系統や到着したスタッツ



（山形）特養愛日荘

「第8回フォトコンテスト」を1月下旬～3月下旬に開催し、1階ホールには80枚ほどの写真が掲示されました。展示した作品は、昨年1年間に撮影した写真からエントリー。「笑顔」「いきいき」「ふれあい」「アングル」「テーマ」の5部門に分けて公開しました。

開催期間を通して掲示した後、4月上旬に入居者・利用者・職員の投票で優秀賞を決めました。開催の目的は二つあり、一つは「心を打つ良い写真の追求」もう一つは「広報への活用」です。この取り組みを始めてから撮影する写真枚数が増え、広報への活用や写真の管理に関する意識付けが増しました。

継続は力なり。フォトコンテストは今後も続けていきます。

（済生記者 高橋睦）

3月22日に「コードブルー訓練」を実施し、医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師、検査技師、事務職員など院内の多職種10人以上のスタッフが参加しました。

訓練は、認知症が疑われる高齢の来院者が倒れ、心静止の状態になるという設定。付き添い

が広がりました。胸骨圧迫を絶え間なく行ない、気管挿管、点滴投与、ポータブル撮影、電気ショックといった本番さながらの処置を約30分間続けて訓練は終了。

初めての訓練だったこともあり、指示系統や到着したスタッツ

**(神奈川) 横浜市東部病院**

**国際緊急援助隊での医療活動を報告**

(当時)は3月23日、トルコ・シリア地震でJICAの国際緊急援助隊（JDR）医療チーム1次隊75人の一員として被

臨床工学部の森實雅司係長

D.R.が緊急医療チーム(EMT)に対するWHOの国際認証である「Type 2」を取得後初めてのミッションとなりました。

夜間は氷点下にもなる厳しい環境下で、現場では手術や透析などに使用される医療機材の保

守点検だけではなく、患者さんと接する機会も持つたことを報告。

張り入院の病床や検査室、手術室などの設営、そして受付の業務も積極的に行ない、患者さんと接する機会も持つたことを報告。

写真提供 JICA



写真提供 JICA

写真提供 ピースウインズ・ジャパン



当院救急外来に勤務する若原聖徳看護係長（D.M.A.T隊員）が、トルコ・シリア地震の国際緊急援助隊（JDR）

## JDR2次隊としての2週間

滋賀県病院

予想以上に子どもの受診が多く、自分よりも姿勢は日本でもトルコでも同じだと感じたそうです。

また、シリアからの避難民も多い地域だったので、トルコ語すら通じない人には別の通訳を介して対応するなど、会話のやりとりに大変苦慮したと言います。

今後も被災地の役に立てるよう現場に寄り添った支援活動を継続していくと語りました。

（済生記者 高畠貴子）

西澤真由美



写真提供 JICA



災地で行なった医療活動の報告会を実施しました。森實係長は、ガジアンテップス県オーゼリ市で被災した病院の診療機能の補完等のため、2月12日から27日まで、職業訓練校敷地内に野営病院を設置し医療

当院の整形外科部長・屋良卓郎医師は、トルコ・シリア大地震のJICA国際緊急援助隊（JDR）医療チームの3次隊41人の一員として、3月5日から約2週間、トルコ南東部で支援活動を行ないました。

## JICAの要請を受けトルコで医療支援

福岡総合病院

た医療テントで、1日100人ほどの骨折や裂傷などを負った人の処置、診療を行ないまし

た。

屋良医師は、「学生時代に訪れたこの国に医療支援というかたちでの再訪となりましたが、

当時と変わらない現地の方の温かさに触れ、充足した気持ちで活動を終えました。今後も整形外科の専門性を生かし国際医療

活動に従事しました。

学校のグラウンドに立てられ

た医療テントで、1日100人ほどの骨折や裂傷などを負った人の処置、診療を行ないまし

た。

屋良医師は、「学生時代に訪れたこの国に医療支援というかたちでの再訪となりましたが、当時と変わらない現地の方の温かさに触れ、充足した気持ちで活動を終えました。今後も整形外科の専門性を生かし国際医療

活動に従事します。今後も整形外科の専門性を生かし国際医療活動に従事します。今後も整形外科の専門性を生かし国際医療活動に従事します。



写真提供 JICA

こちらは国際NGOの一員として  
岡山済生会総合病院

支援員として尽力していきました」と話してくれました。

（済生記者 富永朋実）

救急科の稻葉基高非常勤医師（国際NGOピースウインズ・ジャパン所属）は、トルコ・シリア地震の支援活動のため3月1日、シリア国境近くのハトイ県に派遣されました。

「医療活動もさることながら、現地政府や保健省などさまざまな関係者からの許可をとる必要があり、関係者を回って安全に

# topics

筆者はトルコ南部で発生した地震の国際緊急援助隊（JDR）の一員として、2月23日から約2週間、現地で医療活動を行ないました。

WHO現地調整本部から指示されたのは、病院避難を余儀なくする患者の受け入れでした。筆者は、病院内に設けられた避難所で、患者の受け入れや救護活動を行なってきました。また、現地の医療機関と連携して、地域住民に対する健康教育活動も行なってきました。

（認知症予防対策委員会  
三堂陽一）



身体の健康度チェック会」を、3月15日、シルバークレイン地域交流センターで開催しました。

約1カ月前に募集を出したところ瞬く間に定員（10人）いっぱいとなり、地域住民の関心度の高さを改めて実感しました。

当日は認知症についての医師の講義や、タブレットを用いた認知機能評価、運動機能評価、問診を実施しました。

参加者は「認知症について楽しく勉強する機会になつてよかったです」「知人にも参加するようすめたい」と話していました。

継続してさらに認知症予防に取り組みたい人には、当院企画の「認知症予防塾（毎週全11回開催）」を紹介。単発で終わるのではなく、継続性を持つた認知症予防事業を目指しています。

（認知症予防対策委員会  
三堂陽一）



〈山形〉特養ながまち荘  
防災士育成、有資格者25人に

2月28日、3月7・14日の3日間、ながまち荘研修室で「防災士養成研修講座」を開催し、当施設からは筆者も含む6人の職員が受講しました。

平成25年から防災士の育成を始めた当施設では、施設長はじめとした管理職のほか、管理栄養士やケアマネジャーなど幅広い職種で防災士の資格を取得しました。

3月末、受講者全員に合格通知が届き、これでながまち荘の防災士の数は計25人となりました。

（済生記者 高見友都）

〈大阪〉中津病院

## リハ室移転でもっと便利に

4月1日、リハビリテーションセンターを南棟2階に新設し、保育所、病児保育室、小児科外来を南棟5階に移設するための措置です。

今まで中棟、東棟の入院患者さんは、2回エレベーターを乗り継ぎリハビリテーション室まで来ていただいていましたが、移転により動線が短くなりましたが。

（リハビリテーション技術部  
部長 橋本宏行）



また、フロアが分かれていた言語聴覚療法室、理学療法室、作業療法室がすべて同じ階に集まつたため、療法間の移動もスマートワークを構築したりするなど、地域福祉の拠点として活動してきました。豪雨被災施設や新型コロナ発生施設への職員派遣も積極的・継続的に行なっています。

日頃から地域住民と防災訓練を実施したり、災害時の広域ネットワークを構築したりするなど、地域福祉の拠点として活動してきました。豪雨被災施設や新型コロナ発生施設への職員派遣も積極的・継続的に行なっています。

地域住民を対象とした「第1回認知症予防イベント（脳と認知症予防事業への取り組み）

〈大阪〉泉尾病院

看護師を目指し、第1期生の名に恥じぬよう本分を全うする」と誓いの言葉を述べました。（経営企画室室長 日高滋規）



力を發揮できるよう頑張つていただきたい」と挨拶があり、受講生代表の中野尚美さんが「思いやりと実践力のある特定行為

（大阪）野江病院

## トルコの野外病院で看護師長が2週間

筆者はトルコ南部で発生した地震の国際緊急援助隊（JDR）の一員として、2月23日から約2週間、現地で医療活動を行ないました。

WHO現地調整本部から指示されたのは、病院避難を余儀なくする患者の受け入れでした。筆者は、病院内に設けられた避難所で、患者の受け入れや救護活動を行なってきました。また、現地の医療機関と連携して、地域住民に対する健康教育活動も行なってきました。

（認知症予防対策委員会  
三堂陽一）



写真提供 JICA

の機能を補完する活動。手術・病棟機能を持つ field hospital 短期間でしたが、普段は全国100人の外来診療を行ないませんでした。

それぞれ違う機関で働く医師や看護師と協働することに緊張しました。

つつ、仲間から多くの刺激をもらひながら日々の診療にあたる

ことができました。

万全ではない医療体制の中で工夫しながら、限られた人や物で少しでも質の高い医療を提供しようと意見を出し合っているうちに即席ながら素晴らしいチームができあがり、忘がたい貴重な経験を得ることができます。

（集中治療室副看護師長 赤松有紀子）

たたきたい」と挨拶があり、受講生代表の中野尚美さんが「思いやりと実践力のある特定行為

（大阪）豊浦病院

## 看護師特定行為研修開講式

看護師特定行為研修開講式が、4月4日、当院中会議室で行なわれ、受講者3人（訪問看護ステーション師長、療養病棟副看護師長、地域包括ケア病棟看護師）を含む10人が参加しました。

当院は本年2月、厚生労働省看護師特定行為研修の指定研修機関の認可を受けました。「創傷管理関連」「水分管理に係る薬剤投与関連」「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の3区分を、豊浦パッケージと名付けて開講します。

開講式では、中司謙二院長から「今後在家医療に注力していく当院で、地域へ向けて十分に開講します。

看護師を目指し、第1期生の名に恥じぬよう本分を全うする」と誓いの言葉を述べました。（経営企画室室長 日高滋規）

〈山口〉豊浦病院

看護師を目指し、第1期生の名に恥じぬよう本分を全うする」と誓いの言葉を述べました。（経営企画室室長 日高滋規）

# topics

（東京）中央病院

## 視覚障害者の移動支援アプリを導入

当院では、視覚障害者の移動を支援するシステム「ナビレンス」を導入し、4月1日から運用を開始しました。

スペイン発祥の移動支援アプリで、各所に貼られている「ナビレンスコード」を読み込むことで、目的地の内容・方向・距離などの案内が表示され、音声でも読み上げられます。

視覚障害の方が安心して当



海老原全院長とナビレンス導入に携わったスタッフ。病院看板にもコードが貼られています。

熊本病院

## 外来がん治療棟をリニューアル

外来がん治療棟（2007年竣工）の診療機能をさらに大幅拡充させ、4月1日、リニューアルオープンしました。

薬物療法の治療ブースを20床から36床に増床し、専用の診察室や相談用の個室20室を整備し、国内最高レベルの陰圧クリーンルーム（調剤室）を導入。また、がん治療に伴う心筋障害や心臓循環器外来」も県内で初めて開設しました。

リニューアル記念のテープカットセレモニーの模様は、地元テレビ局4社をはじめとしたメディアで紹介され、報道陣向け内覧会も実施しました。

## 10人が初期臨床研修を修了

静岡済生会総合病院

3月20日、初期臨床研修修了証書授与式が当院の講堂で行なわれ、当院の研修医10人に、岡本好史病院長か

ら修了証書が授与されました。修了者は壇上で、感謝の言葉や今後の進路について述べ、岡本病院長からは「当院での経験を生かし、新たな道でも頑張ってください」と激励の言葉が贈られました。

中尾浩一院長はメディアを通じて「がんと共に生きる環境を患者さんやご家族に提供していただきたい」と発信しました。



院にお越しいただける一つの契機になれたならという思いから導入しました。海外では施設内の移動支援だけでなく、バスや電車の乗り場案内や時刻案内なども行なわれています。

ちなみに当院には、診療分野以外で国内初の医療機関内店舗のUNIQLOやドトールコーヒー・ショップ、セブンイレブン、銀座スエヒロがあります。

（事務次長 町田洋治）

車の乗り場案内や時刻案内などを支援するシステム「ナビレンスコード」を読み込むことで、目的地の内容・方向・距離などの案内が表示され、音声でも読み上げられます。

視覚障害の方が安心して当



## 3年ぶりの出前講座

（神奈川）若草病院

救急科に配属、4月以降も引き続き当院で活躍します。

4月からは新たに16人の研修医が当院に入職し、合計28人で臨床研修を受ける予定です。

（済生記者 酒井あい）

当院の薬剤師による医療講座「薬とサプリメントの正しい基礎知識」を3月14日、横浜市金沢区の釜利谷地域ケアプラザで実施しました。

新型コロナの影響で実に3年ぶりの開催となった本講座。今回は地域住民10人を含む15人の参加があり、みなさん熱心にうなずきながら聞いていました。

質疑応答では、「内服薬とサプリメント、効能で重複するものがあるのか?」「どこを見たら分かりやすいのか?」などの質問がありました。リラックスした雰囲気の中、ご自身の気になることを薬剤師に聞くことができたようです。

参加者は、「大変勉強になりました」「情報があふれているので専門家の話を聞けて少し安心することができました」と話

（今後も継続して講座を実施していくつもりです。

（済生記者 長澤伸哉）

（福岡）二日市病院

当院睡眠医療センター長の安藤真一医師が4月22日、KBC



（経営戦略課 木山浩平）

テレビの「とつても健康らんど」に出演し、むずむず脚症候群と周期性四肢運動障害の解説を担当しました。安藤医師は令和3年3月まで九州大学病院睡眠時無呼吸センターのセンター長を歴任し、退任後、当院で睡眠医療センターを開設しました。睡眠時無呼吸だけでなく、睡眠障害に関する幅広い疾患を診療された経験を持ちます。

むずむず脚症候群は、寝る際に下肢に違和感が生じて入眠できず、日常生活に影響がでます。周期性四肢運動障害も、睡眠中の下肢の運動で睡眠が妨げられる疾患です。これらは的確な診断・治療が受けられていない患者さんも多いです。当院の睡眠医療センターはこうした患者さんのお力になります。

# topics

## ユニホームを一新

〈山口〉豊浦病院

新年度から、看護職員と事務職員のユニホームが変更となりました。

看護職は、働き方改革の一環として日勤と夜勤の色を変えることで、

に時間管理が可能に。持続可能な看護サービスの提供を目指します。

自然豊かな豊浦のまちをイメージし、日勤者にはアースカラーを採用。ブルーは海、ホワイトは雲、ベージュは砂浜、オリーブは山、ワインカラ

ーは夕陽をイメージさせ、済生会の紋章であるナデシコのピンクを加えた6色から選択可能としました。看護師長はネイビー、

看護補助者はロイヤルブルーを着用します。

事務職員は、多様性や動きやすさに配慮しキユロットとスカートを選択可能としました。「しゃがみやすくなつた」「作業のときに助かる」と好評です。

(済生記者 西田千鶴)



## 看護主任のためのACP研修

〈新潟〉三条病院

院内の看護主任を対象としたACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修を2月24日に実施した。約20人が参加しました。

この研修は、ACP介入について、「スタッフで異なる考え方を統一するため主任に何ができるか」を考えるために企

画。終末期の患者さんが入院時に事前意思確認書を提出したがらないことをスタッフに相談されたという事例から、主任の取りべき対応について議論しました。



らどう生きたいかを聞いてみよう」「本人の意思を聞き出したために少しづつ信頼関係を築いていこう」などの意見が交わされました。（済生記者 丸山良樹）

## 北海道支部「タイムスリップ塩谷村DVD版が完成

小樽市塩谷・桃内地域の歴史と文化を振り返る紙芝居、DVD版が完成しました。

2018年に塩谷小学校で発表された劇をまとめたもので、子どもたちが作家、伊藤整の文学碑がある塩谷の「ゴロタの丘」で伊藤本人と出会い、タイムマシンで明治時代から現在までの歴史を振り返りながら旅するSF物語です。

DVD版ではみどりの里の保育士が紙芝居の読み上げを担当。2月27日、出来上がったDVDを、劇を演じた当時2年生（現6年生）17人に卒業記念として贈りました。

紙芝居とDVDは、同小学



校や市立図書館、市教育委員会にも寄贈します。

この活動は、済生会が全国で行なっているソーシャルリンクルージョン推進計画の一つで、地域の歴史・文化の伝承と地域の魅力の掘り起しによる地域活性化を目指しています。（北海道済生会 清水雅成）

## 〈山形〉はやぶさ保育園初めてのバスお花見

新年度の幕開けとともに、3歳児クラスは4月13日、4歳児クラスは11日、5歳児クラスは20日に、それぞれバスに乗ってお花見に出かけました。

初めてのバスでのお出かけに

子どもたちは大喜び。車窓から見える景色を眺めながら、さまざまな会話が飛び交っています。今年は例年より早い時期での桜の開花となつたため、鯉のぼりがたくさん泳いでいる高瀬川では、桜と鯉のぼりのコラボレーションも堪能することができます。

(済生記者 齋藤里奈)

## 滋賀県病院 演習効果を発表 フライトナース勉強会

全国のフライトナースが一堂に会し発表やディスカッションを行なう「フライトナース勉強会」が3月16日、オンラインで開催され、70人以上の参加がありました。

今回のテーマは「フライトナースの教育」。筆者（看護師）は「フライトナース養成におけるシミュレーション演習の効果」と題して発表しました。

当院ではドクターへリ同乗研修中に、より現場の状況に即したシミュレーション演習を行なっています。重症胸部外傷患者を想定し、フライトドクター、救急隊員、ヘリ機長などと協働して救命活動をする演習が、実際の出動時に活用できた事例を



紹介しました。

現在、全国56カ所でドクターヘリが運航されていますが、各施設が独自の方法でフライトナース教育を行なっているのが実情です。

フライトナースの働き方や、教育への時間の使い方を検討し改善していく必要性を改めて感じました。（救急外来 野村昌夫）

滋賀県病院



# topics

今年も、真っ白な花を咲かせた満開のモクレンに出合えました。毎年3月は、当センターに面した並木道(通称モクレン通り)に植えられたモクレンの花を見に行くことが、利用者さんたちでした。

ボランティア部は約1年前に発足。月1回毎回15人ほどが集まり、医療的なケアが必要なお子さんやご家族のことを思いながら一針一針心を込めて作りました。



当施設のボランティア部が1年がかりでつくり、2月にこど

**1年がかりのつるし雛を  
こどもホスピスに寄贈**

〈神奈川〉横浜市六浦地域  
ケア・プラザ



今年も、真っ白な花を咲かせた満開のモクレンに出合えました。毎年3月は、当センターに面した並木道(通称モクレン通り)に植えられたモクレンの花を見に行くことが、利用者さんたちでした。

## モクレンが咲いた

センター

〈愛知〉青い鳥医療療育

センター

の恒例行事となっています。

モクレンは咲いている期間が

短いので、時期が近づくと職員はつぼみの状態のチエックに余念がありません。「つぼみが大きくなってきたよ」「そろそろ開くかな」という声が飛び交います。

「早く見たい」と声を出して催促する人、春の心地よい風に吹かれて満面の笑みを見せる人、花を見上げてみとれる人——いろんな人がいます。

花を見て戻ってきた人は、他の利用者さんに「きれいだったよ」と教えたり、職員に「また行きたい」と伝えたりしていました。来年も楽しみですね。

(済生記者 田口幸子)

東日本入国管理センターから  
感謝状

〈茨城〉龍ヶ崎済生会病院

3月30日、東日本入国管理センターから当院の海老原次男院長に感謝状が贈られました。

当院は東日本入国管理センターに収容されている外国人が適切な医療を受けられるよう、受



診の要請を引き受けました。これまでの診療実績に加え、当院での診察所見が収容者への対応指針の策定に大きく貢献したことなどが評価されたようです。

海老原院長は、「通常の診療を行なつただけなのに、感謝状をいただけとは驚きました。入所者にもセンター職員にも安心していただけて何よりです」と語りました。

(済生記者 堀越琴美)

〈神奈川〉若草病院

若草病院では、毎週水曜日の昼前に、山本俊郎院長代行が院内回診を行なっています。

回診時は、患者さんを少しで室で撮影した映像からひしひ

てだそうです。

4人のスタッフが看護師を志した理由や、見えないウイルスに対する不安・恐怖心、コロナに関する医療従事者としての使命感などが、コロナ病棟の病

室で撮影した映像からひしひと伝わってきます。

この番組「おしえてーよのなか先生」は、地元ケーブルテレビで放映され、その後は県キャラ教育支援センターのホームページに動画掲載の予定です。

(済生記者 長澤伸哉)

がら当院でできることに限りがあるのも事実ですが、患者さんのため、ひいては地域のためにできることを行なっていきたいと考えています。

笑顔で喜ぶ患者たちにとって、院長代行が来てくることは決して小さなことはあります。

元気づけられるように心がけているとのこと。すべての患者さんが山本院長代行の受け持ちと、どうわけではなく、一人ひとりと話す時間も短いかもしませんが、実際に患者さんの目の輝きが違います。



## ケーブルテレビの取材

〈宮崎〉日向病院

当院コロナ病棟に勤務経験のある看護師4人が、地元ケーブルテレビの取材を受けました。

これは県のキャラ教育事業の一環で、地域で活躍している人の仕事内容、働きがいなどを小中学生に向けて紹介する企画。宮崎県の医療機関で取り上げられるのは当院が初めて



滋賀県済生会看護専門学校の看護学生と一緒にお花見を開催しました。

3月30日、生徒8人も参加して、ただ桜を鑑賞するだけでなく、利用者さんも加わって体操といつたレクリエーションを行なうなど、春の空気を全員で堪能しました。

近年はコロナの影響もあり、

(済生記者 野口景市)

行なうなど、春の空気を全員で堪能しました。

とで、利用者さんも普段とは違う楽しさを感じただけだと思います。

39 SAISEI | 2023 MAY

も元気づけられるように心がけているとのこと。すべての患者さんが山本院長代行の受け持ちと、どうわけではなく、一人ひとりと話す時間も短いかもしませんが、実際に患者さんの目の輝きが違います。

SAISEI | 2023 MAY 38

中庭に春が訪れました……。

当院の中央には創立当初から、白い煉瓦で作られた噴水のある大きなガラス張りの中庭があります。しかし病院の老朽化に伴い、数年前から花はなくなり噴水も汚れが目立つきました。

そんなとき、外来患者さんから「中庭に花があれば……」とうお声をいただきました。ま

た入院中の患者さんの中に、奈良病院の「庭設計図」を手書きしてくださいました。

庭設計図には、手入れのしや

すい花・管理のしやすい花、何より癒やしをもたらす花などが記されており、その設計図を参考にお花を植えました。本当に感謝しています。

今では、近くの佐保川沿いの桜の香りとともに、済生会の中庭の花々が地域にも春の訪れを告げています。

（副看護部長 古川優子）



## 特定行為研修の開講

本年2月22日付で厚生労働省から「特定行為研修指定研修機関」に指定された当院は、4月14日、5人の受講生を迎えて開講式を行ないました。

特定行為研修は共通科目と区別科目の研修から構成され、当院で開講する区分別科目は「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」です。

当院にはさまざまな分野の特定看護師が在籍し、院内だけでなく在宅でも活躍しています。

（副看護部長 寺岡雅恵）

自院で特定行為研修ができることは、特定看護師を増やし、患者さんへのタイムリーなケアの提供、さらに看護の質向上、看護師のモチベーションアップにつながります。

病院全体で取り組み、受講生の研修を行ない、次年度にはさらにはかの区別科目を選定し申請する予定です。

（副看護部長 本倉美穂）

## 神奈川わかくさ保育園

わかつさ保育園は、3月18日に卒園式を行ないました。今年は11人の園児が家族や職員に見送られました。

語りかけるような言葉に、「いか」「ターミナル期の患者さんや家族の精神的なケアをどうすべきか」「病院に搬送すべきかどうか」など、たくさん悩み、さまざまな経験を積んできました。

最後は「きみとぼくのラララ」（卒園ソング）を合唱。のびや



守られ、やや緊張しながらも練習の成果を發揮し卒園証書を受け取りました。

覚えたての文字でつづった家族への手紙を一人ずつ読み上げると、あたりの空気感が一変。

「だっこしてくれることがうれしいよ」「せんたくもの、いつしょにたんてあげるよ」など



## 消防学生34人がドクターへリ・カー視察

福井県消防学校救急課程の学生34人が3月14日、当院のドクターへリ・カーを視察に訪れた。

自分になつて輝いた巣立ちの

かな歌声と明るい笑顔で式を締めくくりました。

一人ひとりが「なれる最高の自分」になつて輝いた巣立ちの

救急業務に従事するための最終課程として実施されたもので、ドクターへリとドクターカーの両方を有し、プレホスピタル診療に入れていることや、ヘリの運航範囲を福井県嶺南地方までカバーしていることから当院が視察先に選ばされました。

当日は、越後整急救急センター長の講義の後、ドクターへリ・カーを前に、プレホスピタルに従事する医師・看護師・救急救命士・ヘリ機長などが解説し、質疑応答を行ないました。

終了間際に実際に出動要請があり、救命救急センターから職員がドクターカーに乗り込み出動していく姿を目にした学生たちからは、「かつこいい」「私たちも頑張ります」と熱い想いの

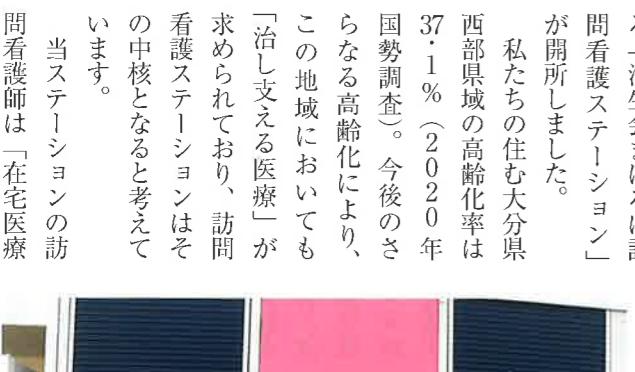
## 訪問看護ステーションを開所

### 滋賀県病院

今年4月1日、当院が運営する「済生会まほろば訪問看護ステーション」が開所しました。

私たちの住む大分県西部県域の高齢化率は37.1%（2020年国勢調査）。今後のさらなる高齢化により、この地域においても「治し支える医療」が求められており、訪問看護ステーションはその中核となると考えています。

（まほろば訪問看護ステーション 竹内佳美）



当ステーションの訪問看護師は「在宅医療

## 〈埼玉〉加須病院 ウェルカム！初期研修医

当院に入職した4人の初期研修医は4月16日、埼玉県医師会および埼玉県主催の「埼玉県総合医局機構交流会・研修医ウェルカムパーティー」に出席しました。

参加者は約100人。医療手技トレーニング用の機器をそろえた地域医療教育センターでは、エコーや内視鏡のトレーニング機器の体験・見学も行なわれました。

交流会では臨床研修に向けた支援について、日本医師会の取り組みなどを聴講。その後は、日本医師会の松本吉郎会長や埼玉県医師会の大野元裕知事を交えたパーティーに移行し、他病院や地区医師会役員らと親睦を深めました。

参加した初期研修医からは「研修医に対する県のバックアップが手厚くてうれしい」「いろいろな人の話が聞けます。



てくれる「溜め」を書き出し、自分の支えとなるものについて考えました。

後半はグループミーティング。貧困に関する題材に、どのように支援すべきかなど、それぞれの立場に立って、「溜め」や背景を想像しながら話し合い、考えを共有しました。

研修会後、受講者からは「無料低額診療やなでしこプランへの理解が深まった」「他部署合同で、違った視点や話を聞いてよかったです」といった感想が聞かれました。

貧困は決して他人事ではなく、自分の問題として考え、他者に思いを馳せることの大切さを学びました。

（済生記者 原 衣里奈）

## 大満足のお花見ドライブ

4月7～13日にかけて、延べ29人の利用者さんと花見ドライブに出かけました。

山形では4月になると桜が満開となり見頃を迎えます。コロナ禍の影響によりここ数年は外出行事を控えていたため、入所

者のみなさんにとっては久々のお花見となりました。

山静寿を出発し、山形市の桜の名所である馬見ヶ崎さくらランや、山辺町の観光スポット玉虫沼の周辺をドライブ。あいにくの雨に見舞われた日もありましたが、晴れた日には降車して公園の散策を行ないました。視覚障害により目の見えない人も、木の幹や落ちている枝、花びらに触ることで春を感じていました。

（済生記者 丹 秀樹）



## 6人の常勤医師を新規採用

当院では4月1日付けで、6人の常勤医師（消化器外科2人、消化器内科2人、脳神経内科1人、放射線科1人）を新規採用しました。

オリエンテーションに際して佐々木祐一郎病院長は、「当院はこの地域における唯一の総合病院であり、職場での一挙手一投足がとても重要となります。本日から済生会の一員であると自覚し、誇りを持って地域医療に貢献してください」と挨拶。

新任医師の中から、砂口天兵

（総務課 坂本佑太）

## 〈埼玉〉加須病院

て刺激になつた」という声も。

10日間のガイダンスを終え、いよいよ初期研修がスタートします。

（経営企画課 蓬田絵里子）

## もしものときのために 夜間避難訓練

年に一度の夜間避難訓練（看護部門）を3月7日、17時30分から実施しました。

今回、出火元に想定した周産期母子センターは、病棟部門、集中治療を要するNICU、GCUの3ユニットで構成されます。

夜勤の4人の病棟スタッフは、火災報知機と防災センターから



## 〈埼玉〉川口総合病院 生活困窮者支援研修会

3月22日、当院なでしこプラン推進委員会主催による「生活

のアナウンス直後にスタッフフルに集合。リーダー看護師からアクションカードを渡され、患者さんの安全確認と火元の確認を行いました。

火元とされたNICUに入り口に通じる廊下は、看護師が消火活動を実施。NICU入室を通り安全な廊下へと避難するなど、短時間で安全な避難経路を判断することができました。

夜間の火災発生時に初期対応を求められるのは看護師です。いつどのような状況で、火災や地震が発生するかは予測不可能であるため、日々の訓練が重要だと改めて感じました。



（済生記者 下村桂子）

困窮者支援研修会」を講堂で行ないました。

研修会には約30人の職員が出席し、5～6人ごとのグループワークを実施。

前半は、貧困問題に詳しい湯浅誠氏が提唱する「溜め」についての個人ワーク。自分が困ったとき、病気になったときに思ひ浮かぶ人がいるか、金銭的な支えはあるかなど、自分を守つ

（総務課 坂本佑太）

# topics



**看護師特定行為研修について、**  
小児プライマリケア認定看護師  
教育課程3期生の合同入講式を、  
4月10日、当院で行ないました。  
前者は11人、後者は9人の計  
20人の入講生を迎えるました。

看護師特定行為研修について、  
三角隆彦院長は「みなさんの高  
い志は大変貴重」と称え、当院  
にしかない認定看護師教育課程

(小児プライマリケア分野)に



## 特定行為研修合同入講式

〈神奈川〉横浜市東部病院

の成長に期待しています。頑張  
れ、7人の看護師たち。

(看護師長 市橋由利香)

関しては、「小児全般の知識や

経験を学び直す場として、横  
のつながりを大事に励んでほしい」とエールを送りました。

これを受けて入講生代表の認  
定看護師教育課程3期生・大邑

友理恵さんは、「ここで学んだ

知識や技術をどのように生かせ  
るかを常に考えながら、励みた

い」と意気込みを語りました。

これから日々が入講生のみ  
なさんにとつて、充実した学び  
の時間となりますように!

(済生記者 荒木愛美)

## 安全標語でカルタ大会

〈三重〉松阪総合病院



院長賞は「みんなを守る医療安  
全」(HCU)、安全管理室長賞  
は「隅々へ目を光らせて事故防  
止」(手術室)に。

カルタ大会は予想以上に白熱  
し、医療安全に大切な多職種で  
のチーム力向上につなげること  
ができました。

各委員や各部署で考えた標語  
がこのような形で返ってきたこ  
とに對して、「楽しかった」「大  
変な委員会だけどやりがいがあ  
る」と委員の励みにもなりまし  
た。

だけの活用にしておくのはもつ  
たいない!——コロナ禍で委員  
同士の交流が少なくなっている  
こともあり、これを機会に交流  
の場をつくろうと、安全標語を  
用いたカルタ大会を開催しまし  
た。

(医療安全管理室 看護師  
田中恵子)



新型コロナ感染症が落ち着いて  
いるので、今年こそは入所の

利用者さんを外出させ桜を見せ  
との判断から見送りになつたた  
め、昨年の反省を生かして桜の  
花を施設内に生け、利用者さん  
から大変喜ばれています。

今回改善した点は大きく3点  
あります。まず、小枝を大きな  
枝に変えボリューム感をアップ  
しました。次に、設置場所を2  
カ所に増やしました。最後に、  
樹種を松前紅豊(マツマエベ  
ニユタカ)、虎の尾(トランオ)の  
2種の八重桜に変更。色の濃  
淡によりコントラストを付けま  
した。

全国の済生読者のみなさん、  
色のきれいな品種、花持ちのよ  
い品種など、桜に関するよい情  
報がありましたら、はまな荘ま  
で連絡をお願いします。

(済生記者 佐藤 聰)

熊本城マラソンを応援  
3年ぶりに開催された熊本城  
のスポーツイベントで、済生  
会グループホーム事業所では  
2012年の大会開催以来、  
地域参加の一環として観戦し、  
ランナーを応援しています。

大会に先立ち行なわれるコー  
スの清掃には、グループホーム事  
業員が参加。また、福祉センタ  
ーから出展したかかしの「ルフ  
イー」を沿道の烟から応援させ  
るなど、大会を通じて利用者・  
スタッフと地域との交流を深め  
ることができました。

そしてなにより、選手のみな  
「責任感を持つて看護してい

院内の新人看護職員研修の締  
めくくりとして、3月23日、1  
年間の振り返りと次年度の目標  
を発表する「リフレクション発  
表会」を院内会議室で開催しま  
した。

昨年度は7人の新人看護師が  
入職。それぞれが5部署に配属  
され、先輩看護師の指導のもと  
日々頑張っていました。

(グループホーム事業所  
サービス管理責任者 田中由香)



## 2年目も頑張れ!

奈良病院

さんから頑張る力をもらう一日  
となりました。

(グループホーム事業所  
サービス管理責任者 田中由香)

## 小枝を大枝にして今年も室内でお花見

〈広島〉老健はまな莊

利用者さんを外出させ桜を見せ  
との判断から見送りになつたた  
め、昨年の反省を生かして桜の  
花を施設内に生け、利用者さん  
から大変喜ばれています。

5類感染症に移行していない  
利用者さんを外出させ桜を見せ  
との判断から見送りになつたた  
め、昨年の反省を生かして桜の  
花を施設内に生け、利用者さん  
から大変喜ばれています。

利用者さんを外出させ桜を見せ  
との判断から見送りになつたた  
め、昨年の反省を生かして桜の  
花を施設内に生け、利用者さん  
から大変喜ばれています。



## 90人の新入職員が仲間入り

4月3日、今年度の新入職員90人を迎えて入職式を行ない、その後3日間の集合型研修に入りました。

BLS（一次救命処置）実習

では、胸骨圧迫やAEDの使い方を実際に体験。災害対策訓練では屋上から避難階段を下りて避難経路を実際に歩き、病院救急車の見学や水消火器を用いた消防訓練も行ないました。

さらに、ワークショップ「社会人・医療人・済生会人としての決意表明を一人ひとり行いました。

ほかにも、炭谷茂理事長の講話DVD視聴、各担当職員から社会人マナー、院内感染、医療安全についてなどなど……。

盛りだくさんのメニューにもかかわらず、新入職員たちは期待と緊張を胸に一生懸命取り組みました。研修終了後、「多職種と伸を深めることができた」「学んだことをしっかりと実践できるよう頑張っていきたい」などの感想が聞かれました。

（済生記者 原 衣里奈）



動を推進しており、今後もエネルギー資源再利用などの環境保護にも取り組んでいきます。

（済生記者 東 賢剛）

## 山形済生病院

### 健康運動指導士が

### 中学保健体育の教科書に



当センター「健康運動指導士」の活動の写真が、「中学保健体育」の教科書に掲載される予定です。



「健康な生活と病気の予防」の例として使用したいとのことです。

### 熊本病院 「わくわく油田プロジェクト」

主任格の事務職員で構成される事務主任会議メンバーを中心

に、3月2日、「わくわく油田

プロジェクト」に参加しました。

わくわく油田プロジェクト

（熊本いいくに県民発電所主催）とは、使用済み食用油を環境負荷の少ない良質なバイオディーゼル燃料として再生する、住民参加型プロジェクトです。今回の活動で、主任会議メンバーから7本、病院併設保育園の保護者から16本、計11Lの廃油を回収して出荷しました。出荷量は19・9 kg分のCO<sub>2</sub>削減量に該当します。

また1月には、わくわく油田プロジェクト出張講座として、園児30人に向け、廃油が燃料に変わる実演を行いました。

事務主任会議では社会貢献活

版元の学研から、済生会のソーシャルインクルージョンを考えるWebメディア（シンク！）に紹介された記事の画像使用依頼を受けました。

健康運動指導士はできてから30年の資格で、厚生労働省告示の健康増進に関する基本方針の中に唯一、明記されている運動指導者資格です。

病気の予防と治療に貢献できる健康づくりのスペシャリストとして、これを機に認知度が上がり、職業として選択してくれる中学生が増えたらなおうれしいと思います。

（健康増進センターめぐみ 遠藤美子）

### 「NCP-R-Pコース普及 指導法」特別コースに参加

医療施設外での出生を想定した新生児蘇生法を学ぶ、日本産期・新生児医学会主催の「NCP-R-Pコース普及・指導法」特別コースが、2月5日と19日に東京・大阪の2会場で開催され、当院からは消防経験のある病院救急救命士2人が指導者として参加しました。

会場では、救急隊員向けのPコースの普及方法や開催するための留意点を学ぶだけではなく、救急隊員が日頃どのような環境下で活動し、どんな資器材を取り扱えるかなど具体的な話を交えつつ、全国

院内見学ツアー、感染対策に関する研修と続きました。

当院では、「金沢病院の一員として根を張り、花を咲かせてほしい」との願いを込めて、毎年、新入職員によるなでしこの花の植栽を行なっています。今年も春の陽気の中、正面玄関横

の各プランターにそれぞれの思いを込めて植えました。26人は植栽後も集合研修やグループワークなどを通し、緊張し合い、改めてその重要性について学ぶことができました。

（病院救急救命士 伊藤希美）

から集まつたインストラクターのみなさんを実際に指導しました。

医師、助産師、看護師、救命士など多職種で病院における新生児蘇生の課題について話し合いで、改めてその重要性について学ぶことができました。

（病院救急救命士 中川範彦）



## 入職者26人でなでしこを植える

（石川）金沢病院

今年度入職した医師、看護師など5職種26人の入職式を行ないました。午前中は辞令交付とオリエンテーションを行ない、午後からは集合写真撮影。その後は恒例のなでしこの花の植栽、

午後からは集合写真撮影。その後は恒例のなでしこの花の植栽、



# topics

## 「人間ひな人形」になつて楽しめました

### 〈兵庫〉特養ふじの里

認知症デイサービスつどいで  
は、昨年に続き今年も「人間ひ  
な人形」を3月1日から1週間  
にわたり行ないました。

期間中は利用者さん全員に、  
雑あられを器に入れてひし餅を  
積んでもらった後、ひな人形の  
衣装に着替えて写真を撮りました



認知症を患うと、季節や昼夜  
が分からなくなってしまうこと  
が多々あります。季節を通じた  
楽しい行事ができる限り企画し、  
心の中に少しでも記憶が刻まれ  
るようthoughtしています。

来年は「三人官女までできた  
らしいなあ」と考えています。  
（認知症通所介護つどい）

生活相談員 竹垣内一繁

### 福岡総合病院 認知症マフで身体拘束軽減

当院では、昨年スタートした  
「身体拘束0プロジェクト」の  
取り組みの一つとして、「認知  
症マフ」を使用しています。  
「マフ」とは、両手を入れて使  
う筒状の防寒具のこと。これを  
手触りのよい毛糸や柔らかい布  
で作り、外側と内側にアップリ  
ケやボタンなどを付けたものが



認知症マフです。  
認知症マフは、患者さんの落  
ち着かない手を穏やかに保ち、  
触覚や視覚の心地よい感覚によ  
つて気持ちも穏やかにさせるた  
め、身体拘束を軽減する効果が  
あるといわれています。

今回、このプロジェクトの贊  
同者および製作者を院内から募  
ったところ、看護師や管理栄養  
士、事務職員など15人が集まり  
ました。

思い思いの材料を手に製作に  
励む参加者の笑顔に、患者さん  
への優しい思いを感じました。  
（経営企画課 木下昌子）



「すまいるの会（東予がん患者  
と家族の会）」の伊藤幸恵代表  
とデイケアに通う地元の高校生  
が、2月20日に当院を訪れ、タ  
オル帽子を寄贈してくださいま  
した。

いただいた帽子は、地元の名

産である今治タオルを使用し、  
一つひとつ手縫いで作られています。

高校生たちが一から帽子  
の作り方を学び、デイケアの空

## がん治療を支える 手作りタオル帽子

### 〈愛媛〉今治病院

掲示板に。「私こんな衣装を着  
て、恥ずかしいやら、うれしい  
やら」「俺の写真はここにある  
ぞ」とそれぞれでまた楽しむこ  
とができています。

認知症を患うと、季節や昼夜  
が分からなくなってしまうこと  
が多々あります。季節を通じた  
楽しい行事ができる限り企画し、  
心の中に少しでも記憶が刻まれ  
るようthoughtしています。

来年は「三人官女までできた  
らしいなあ」と考えています。  
（認知症通所介護つどい）

生活相談員 竹垣内一繁

### 福岡総合病院 認知症マフで身体拘束軽減

当院では、昨年スタートした  
「身体拘束0プロジェクト」の  
取り組みの一つとして、「認知  
症マフ」を使用しています。  
「マフ」とは、両手を入れて使  
う筒状の防寒具のこと。これを  
手触りのよい毛糸や柔らかい布  
で作り、外側と内側にアップリ  
ケやボタンなどを付けたものが

認知症マフです。  
認知症マフは、患者さんの落  
ち着かない手を穏やかに保ち、  
触覚や視覚の心地よい感覚によ  
つて気持ちも穏やかにさせるた  
め、身体拘束を軽減する効果が  
あるといわれています。

今回、このプロジェクトの贊  
同者および製作者を院内から募  
ったところ、看護師や管理栄養  
士、事務職員など15人が集まり  
ました。

思い思いの材料を手に製作に  
励む参加者の笑顔に、患者さん  
への優しい思いを感じました。  
（経営企画課 木下昌子）



「すまいるの会（東予がん患者  
と家族の会）」の伊藤幸恵代表  
とデイケアに通う地元の高校生  
が、2月20日に当院を訪れ、タ  
オル帽子を寄贈してくださいま  
した。

いただいた帽子は、地元の名

産である今治タオルを使用し、  
一つひとつ手縫いで作られています。

高校生たちが一から帽子  
の作り方を学び、デイケアの空

たい」と話しました。いたたいた  
たタオル帽子は、当院で化学療  
法治療をされている患者さんに  
使つていただいています。

松野剛院長は「タオル帽子を  
必要としている方がいることを  
知つてもらえるだけでも非常に  
貴重な経験です」と感謝の言葉  
を述べました。

（済生記者 日野美華）



料低額診療事業）を実施したこ  
とに對して感謝状をいただきま  
した。

その患者さんは外国籍で、仮  
放免中に脳梗塞を発症して当院  
に入院。帰国準備中に脳梗塞を  
再発し、他の急性期病院へ再入  
院しました。

急性期治療は終えましたが後  
遺症に対する集中的なリハビリ  
が必要で、東神奈川リハビリテ  
ーション病院へ転院。その後、  
歩行が見守りレベルになつたと

ころで神奈川県病院へ転院とな  
りました。

入院中、MSWを中心に行ない、  
度帰国に向けた調整を行ない、  
母國であるバングラデシュへ無  
事に帰国することができました。  
今後も関係機関と協力しながら  
医療支援に取り組んでいきたい  
と思います。

（神奈川県病院・済生記者  
小山友輝／東神奈川リハビリテ  
ーション病院・済生記者  
佐藤貴啓）

当院では計114人の新たな  
仲間を迎え、4月3日・4日  
の2日間、統括教育センター主  
催の多職種合同入職オリエンテ  
ーションを2年ぶりに集合形式  
で行ないました。

参加したのは初期研修医14  
人、新卒看護職73人、薬剤師4  
人、臨床検査技師3人、放射線  
技師2人、リハビリテーションセラ  
ピスト1人、事務職員1人、既卒の看護師  
10人、リハビリテーションセラ  
ピスト1人、事務職員3人です。  
写真は感染防止対策演習で  
の一コマ。手指衛生をはじめ、  
PPEの着脱、マスクのフィ

ットテストを行ないました。参  
加者は「手指衛生のタイミング  
について事例をもとに解説をし  
ていただきたことで、実際に働  
いたときをイメージすることが  
できました」などと話していました。  
（キャリア支援室副室長  
山本佐枝子）



## 心臓病をテーマに市民講座

熊本病院

熊本病院は3月21日、市民公開講座「もりの都健康プロジェクト」をくまもと森都心プラザ図書館で開催しました。

第7回となる今回のテーマは「心臓病を知ろう」で、地域住民61人が参加しました。一つ目のセッションでは上杉英之医師（心臓血管外科診療技



### 初期臨床研修医 過去最多の16人入職

静岡済生会総合病院

新年度がスタートし、当院には過去最多の16人の初期臨床研修医が入職しました。  
研修医オリエンテーション初日の4月6日、広報担当も同行し、「はじめの一歩」の記念写真を撮影。研修への意気込みを聞いてみると、「どんな患者さんでもあわてずに初期対応ができるようになりたい」「患者さんとスタッフの方から信頼される医師になりたい」と話してくれました。これから2年間、大変なことあるかと思いますが、たくさんの知識を吸収し、充実した日々となることを願っています。（済生記者 酒井あい）



**院長交代式**  
4月3日、院長交代式が会議室で行なわれました。半年間務めた山本俊郎院長代行から、佐藤博信新院長にバトンタッチすることになり、堀内

良子看護部長から花束が贈呈されました。

「院内全体で支持してもらえたことがうれしかった」と山本代行。新任の佐藤院長からは「今までの経験を若草病院に活かすことができる。地域に根付いた医療をしたい」と挨拶がありました。

最後に記念撮影をして終了。これから若草病院をよろしくお願いします。（済生記者 佐藤貴啓）

二つ目のセッションでは中田大揮理学療法士が、「ココロ（心臓）を守るトレーニング法」自宅でできる簡単運動」と題して、地域住民と一緒に柔軟体操やストレッチを行ないました。参加者からは「予防法が分かり安心しました」「心身ともにリフレッシュできました」など多くの声をいただきました。（済生記者 東 賢剛）

英之医師（心臓血管外科診療技



### 〈和歌山〉有田病院 なでしこ連携医の集い

有田病院は3月9日、有田医師会との共催で「第5回なでしこ連携医の集い」をハイブリッド形式で開催し、地域の約60人の医師が参加しました。第一部は有田医療福祉センターの伊藤秀一総長が座長を務め、当院の山口将則脊椎外科部長が当院における脊椎手術の状況について、寺澤宏消化器外科部長が外科の近況報告を行ないました。

第二部は瀧藤克也院長が座長を務め、和歌山県立医科大学循環器内科の北端宏規准教授が「ガイドラインから見た最新の

心不全治療」について発表しました。当院には現在、四つの医師会から80人近い開業医が連携登録されています。今後もこのような機会を通じて病診連携や地域連携を大切にしていきたいと考えています。（広報官・済生記者 大向伸正）

### 〈和歌山〉特養潮光園 手作り雑巾

地元の中学生が、家庭科実習の授業で作ってくれ



（事務室 山崎良彦）

作ってくれたものなので、大切に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べる浦崎弘之施設長。贈呈式の記念写真に「ありがとうございました」とメッセージ添えて湯浅中学校に贈りました。（済生記者 西川まゆみ）

### 〈神奈川〉若草病院 院長が交代

4月3日、院長交代式が会議室で行なわれました。

半年間務めた山本俊郎院長代行から、佐藤博信新院長にバトンタッチすることになり、堀内

た手作り雑巾26枚が、3月28日に届きました。昨年夏、生徒さんから「潮光園で活用できる布用品を作製したい」との提案がありました。当職員が手作り雑巾を希望したこと、生徒さんのアイデアで、干すときに引っかける輪を縫いつけた雑巾が贈られてきました。「生徒さん一人ひとり一生懸命

長和園では5人の新人職員を迎え、新年度がスタートしました。

### 新しい仲間は5人

（済生記者 特養長和園）



た手作り雑巾26枚が、3月28日に届きました。昨年夏、生徒さんから「潮光園で活用できる布用品を作製したい」との提案がありました。当職員が手作り雑巾を希望したこと、生徒さんのアイデアで、干すときに引っかける輪を縫いつけた雑巾が贈られてきました。「生徒さん一人ひとり一生懸命

た手作り雑巾26枚が、3月28日に届きました。昨年夏、生徒さんから「潮光園で活用できる布用品を作製したい」との提案がありました。当職員が手作り雑巾を希望したこと、生徒さんのアイデアで、干すときに引っかける輪を縫いつけた雑巾が贈られてきました。「生徒さん一人ひとり一生懸命

## 〈神奈川〉わかくさ保育園 音楽とホットケーキ作り

2月25日に「Kodomo Cafe」と題して、親子ホットケーキ作りとハープコンサートを実施しました。午前中は在園児や地域の親子、午後には近隣の高齢者施設の人など、合計91人が来園しました。

ハープ演奏は、アンジェリカ



みました。また、体験タイムでは、目をキラキラさせて弦に触っていました。

親子ホットケーキ作りでは、子どもたちは慎重に生地を流し入れ、焼き上がりの時間を砂時計やタイマーで確認。出来上がったホットケーキを「おいしいね」と笑顔で食べる子の傍らで、のんびりとおしゃべりを楽しむお母さん。

穏やかでホッとする時間が流れています。

（済生記者 本倉美穂）

## 〈愛媛〉松山老健にぎたつ苑 ACPに興味を持つ場に

3月18日にぎたつ苑ホールで3年ぶりに「第8回済生会松山在宅医療市民フォーラム」をハイブリッド形式で開催し、44人が参加しました。

老健にぎたつ苑、松山特養、姫原特養に入居の利用者さんもリモートで参加しました。

第1部は、愛媛大学大学院医学系研究科・地域医療学講座教授・川本龍一先生による講演

【ACP（人生会議）について】。

第2部は、当施設リハビリス

タッフの鵜飼健一郎（PT）と

は36施設から約130人が参加しました。感染管理認定看護師である小美野勝副看護部長がファシリテーターとして進行し、「発熱患者さんの動線の工夫」「面会制限はどうしているか」「他病院での今後の取り組みは」など、保健所や各病院が抱える課題について活発な意見交換を行ないました。

今後も保健所や近隣病院と積極的に連携をとり、地域の感染対策を強化していきます。

（経営企画課 蓬田絵里子）

## 〈山形〉特養ながまち荘 インスタグラムで発信！

昨年11月、当荘デイサービスはインスタグラムを開設しました。

SNS全盛の時代ですが、発信するのは初めて。不特定多数の人が見るこのインスタグラムで、介護の現場から公式に何が発信できるのか悩みました。

他事業所を参考に、介護のお役立ち情報や、老若男女誰からも身近に感じられる聞かれた介護現場の雰囲気、その中で生き

## 〈福井〉ぱつかばか園 成長の喜びを感じたひととき

3月24日、院内保育所ぱつか園で卒園式が行なわれ、12人の子どもたちが卒立ちました。

2年前、手を引かれ入園。お母さんと離れる不安から大きな声で泣いていた一人ひとりの姿や表情が、昨日のことのように思い出されます。

春はよく散歩に出かけ、夏はプールに入り、秋には元気に運動会、冬は寒くても雪遊び。友だちと触れ合い、ともに健やかに元気よく成長しました。

登谷大修院長（現・支部長）から保育証書をもらうときには、お母さんといっしょに手をつなぎ、ちょっと緊張しながら花

道を歩きました。

大きな声で「ありがとうございます」と言えた子どもたちの言葉は会場中を感動させ、大きな拍手を受けた子どもたちはとてもたくましく自信に満ちあふれた表情でした。

卒園した子どもたちは別の保

育園や幼稚園に転園します。新しい園でもお友だちといっしょにいっぱい遊んでね。

（保育士 三勢智香）

## 5類移行に伴う臨時カンファレンス

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4月10日、院内感染対策についての臨時カン



ACPに興味を持っていた機会となりました。

（済生記者 鎌田尚希）

A CPに興味を持っていた機会となりました。

（済生記者 鎌田尚希）



（SAISEI | 2023 MAY 54）

# topics



人に認知していただくこと、罹患している人の重症化を防ぐためのサポートを、これからも多職種で協働して行なっていきます。

(血液浄化センター)

下田佳代子



声が、会場全体に鳴り響きます。ホールではレストランに見

## 子ども園アイリス

場面もありました。  
初期の自覚症状が乏しく、症状が現れたときにはかなり進行している可能性があるといわれるCKD。

予防のための啓発活動で多くの開催がありました。

## 「いらっしゃいませ！」

3月3日、当園では年度末恒例の「お店屋さんごっこ」を行ない、3～5歳児まで51人全員参加で楽しみました。お店屋さんに出す品物は、お菓子の箱やプリンのカップなど、家庭から出る廃材を使って主に年長クラスの子どもたちが作ります。どちらもアイデア満載で、毎回その発想力のすごさに驚かされます。

当日は、「いらっしゃいませ！」という子どもたちの元気な声が、会場全体に鳴り響きます。ホールではレストランに見

立てる食事をしたり、保育室では輪投げやボウリングなどゲームをしたりと、大いに盛り上がりました。

お店屋さんごっこは、品物を作るところから、子ども一人ひとりが店員さんやお客様の立場になりきるところまで、子どもの想像力を存分に發揮できる行事だと、改めて感じました。

(済生記者 小寺 唯)

## 新入職員6人を迎えて

高卒3人を含む6人の新入職員を迎え、4月3日に入社式を行なった。



## 世界腎臓デーにパネル展示

3月9日の「世界腎臓デー」に臨み、当院では1階ロビーでパネル展示を行いました。医師、看護師、理学療法士、管理栄養士の多職種で協働して、「慢性腎臓病（CKD）とは」「血液透析」「腹膜透析」「腎移植」「食事療法」「腎臓リハビリテーション」の各テーマでポスターを作成。

外来患者さんも入院中の患者さんも、多くの人が足を止めて見入る姿を目にしました。また、事務系の職員から質問を受ける

3月18日から1カ月間、当院北棟2階レストラン内の健康情報コーナーで「虹のアート展」を開催しました。

アート展は、現在当院が取り組んでいるソーシャルインクルージョン推進事業の一つで、昨年12月に続き2回目の開催となりました。

清田はるひ所長のあいさつに始まり、初日の昼食は祝い膳で歓迎。幹部職員と一緒に食事をすることから社会人としての第1歩を踏み出しました。

入社式の後は1週間の新入職研修です。2日間の座学では、済生会の歴史やふじの里・なでしこ神戸の事業内容などのほか、接遇や高齢者虐待防止、リスクマネジメントなどの講義を受けました。

残りの3日間は現場実習です。実際に入居者さんと触れ合うことで高齢者介護を肌で感じ、介護をより身近に感じてもらえたと思います。

研修後の感想では、先輩職員の介護する姿を見て「自分もなんふうになりたい」とのうれしい意見がありました。

(管理部長心得 田中敬二)



3月20日、令和4年度「はまかぜ子ども食堂」の卒業式を行ないました。

卒業生は1人。小学校2年生から参加してきたA君です。ここ数年は新型コロナ感染拡大により開催が困難な状況があり、カレーやお菓子などの配達のみの代替事業となっていましたが、3年ぶりに出会う彼はとても大人びて映りました。

「元気で、頑張ってね！」と栗木悦子施設長が卒業証書授与後にエールを送ると、最後にA君から「中学校でも勉強やいろいろなことに頑張ります」と力強い宣言がありました。

な活動を実現できるよう、準備を進めていきたいと思います。

(済生記者 松本 大)

# 今年も「虹のアート展」開催

## 〈東京〉中央病院

行ないました。

清田はるひ所長のあいさつに始まり、初日の昼食は祝い膳で歓迎。幹部職員と一緒に食事をすることから社会人としての第1歩を踏み出しました。

SAISEI | 2023 MAY 56



## 病院機能評価 4回目の認定

当院は1月4日付けで、日本医療機能評価機構による病院機能評価の「一般病院2」として認定されました。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための活動（機能）が適切に実施されているかどうかを中立的な立場で評価を行なうものです。



認定病院数は全国8182病院中2019病院（令和4年12月2日付）あり、和歌山县では当院を含め13病院が認証を受けています。当院の初受審は2006年。今回の受審で、認定証（主たる機能）において認定された回数は星四つとなりました。

（済生記者 松元靖寿）

（福岡）飯塚嘉穂病院

## 筑豊糖尿病ウォークラリー

新型コロナの流行で中止されていた「歩いて学ぶ筑豊糖尿病ウォークラリー大会」が、4月9日、4年ぶりに筑豊緑地公園で開催されました。

に対応できるよう、私たちは常にシミュレーションという事前準備を行なつていかなければならぬと感じました。

（済生記者 鈴木亜希乃）

2019年6月に施設を新築移転したとき、旧施設から移植した「しだれ桜」

が今年もきれいで花を咲かせました。

（宮崎）日向病院

## 新入職員20人スタート

お天気のよい日、このしだれ桜の前で記念撮影をするのが当園の年中行事となっています。

（新潟）特養長和園  
移転したとき、旧施設から移植した「しだれ桜」

が今年もきれいで花を咲かせました。

（済生記者 西川まゆみ）



翌日から、新入職員は新しいユニホームを身にまとい、配属部署での新人研修がスタートします。職員全体でサポートしていきたいと心から思いました。

（済生記者 村尾 愛）

新入職員20人を迎え、4月3日、新入職オリエンテーションと辞令交付式が行なわれました。

オリエンテーションでは、済生会人として、社会人として、ルールを学んだ後、各部署の代表から仕事内容の紹介がありました。

この日の締めは辞令交付式でした。

林克裕院長の話を緊張します。面持ちで聞き入った後、一人ひとりに辞令が手渡されました。受け取る瞬間、さらに引き締まつた表情に変わったのがとても印象的でした。

（滋賀県病院）

## ホスピタルコンサート

関西中心に活動するカトレア・サクソфон・カルテットを招いて3月17日、当院1階エントランスホールで「ホスピタルコンサート」を催しました。

当日は「さくら」「北国之春」「川の流れのように」など、春の訪れをテーマに全6曲を演奏。



力強くも優しいサックスの音色が外来フロア全体に響き渡りました。当日は外来患者さんだけではなく、入院患者さんも多数参加。「サックスの演奏を初めて聴いた」「明るく前向きな気持ちになれた」といった感想をいただきました。

重要なことは何かという記者の質問に対し、濱中部長は「マスクを病院内に入れないこと、必要最小限のことしか言わないことの2点が要諦。さまざまなかっこいいと心から思いました。予期せぬ出来事にも臨機応変



大会会長を務めるのは、当院の有田好之副院長です。

当日は澄み切った青空の下、患者さんやご家族、筑豊糖尿病療養指導士のスタッフなど約170人が参加し、コース上に設定されたクイズやゲームを

チームで解決しながらゴールを目指しました。

大会終了後は「楽しかった」「来年も会いましょう」「子どもも参加できてよかったです」などの声が聞かれ、参加されたみなさんの笑顔がとてもすてきでした。

来年はもっと多くの人に参加してもらえるようがんばります。

（看護師 龍野敦子）

## 病院のマスク対応を語る

当院の濱中浩孝事務部長は2月16日、実際に起きた北新地のビル放火殺人事件における病院のマスク対応について、定期刊行誌「医事業務」の取材を受けました。

緊急事態時のマスク対応で月16日、実際に起きた北新地のビル放火殺人事件における病院のマスク対応について、定期刊行誌「医事業務」の取材を受けました。



（大阪）中津病院

来年はもっと多くの人に参加してもらえるようがんばります。

（看護師 龍野敦子）

## 大分県地域生活定着 支援センター

4月4日、一人住まいの高齢者6人に声をかけ、大分市平和市民公園で花見会を開催しました。

この数年、コロナ禍で人との触れ合いの機会が減り続けたこ

と、対象者6人に声をかけ、大分市平和市民公園で花見会を開催しました。

当日はトランプや談笑をし、

ヒラヒラと舞い散る桜の下でお弁当を食べました。また、利用者さんにカメラを貸し出し、そ

れぞれが思い思いに公園の景色

を写真におさめました。

参加者からは、「今年も参加

してよかったです」「四季を感じる

ことができてうれしい」「たくさんの人と話すことができて楽

しかったです」などの声があり

ました。

(相談員 圓道太一)



## 在宅2事業所が南棟へ移転

### 〈山形〉特養愛日荘

昨年度まで小白川ケアセンター内にあった「愛らんど地域包括支援センター」と、長年特養愛日荘の本体で運営していた居宅介護支援事業所が、施設に隣接する南棟に移動し、4月1日から同フロアで事業を行なうことになりました。

から活動を再開。

交流会では「みんなと直接会つて、おしゃべりをするつて、とても楽しいね」とみなさんうれしそうに話していました。

(済生記者 原 衣里奈)

## 東京入管局長より感謝状

出入国在留管理行政の業務に対する当院の貢献が認められ、3月28日、当院多目的ホールにて東京出入国在留管理局長から感謝状が授与されました。

健康保険が使用できない状態で無料低額診療事業を利用し、当院を受診していた外国籍の患者さんがいました。相手国の都合により退去のための手続きが遅延する中、当院は負担額が高額になりながらも適切な医療を実施し、当局の業務遂行に寄与しました。

「貴院の適切な対応と毅然とした姿勢が、出入国管理業務に大きく貢献した」と謝意を表わす東京出入国在留管理局に対し、三角隆彦院長は「済生会の理念のもと当然の対応でした。今後同様のことが起きても、変わらず対応していくたい」と応えま



## 子どもメディアカルラリー 15チーム34人

当院主催による「第10回千里子どもメディアカルラリー」を、

3月19日、吹田市・千里南公園で開催しました。

小学5~6年生を対象にした「子どもメディアカルラリー」は2012年から開催。2020年以降、新型コロナの影響で開催できず、3年ぶりの対面での



開催となりました。

前日に200mで事前講習を受けた15チーム34人の子どもたちは、八つのステーションに分かれ、AEDの使用、心肺蘇生術などの応急処置を体験。エコーで隠れトトロを探したり、ロープブリッジで救助活動を行なわれてきましたが、佐藤雅彦病院長の指示のもと、今年3月



## ボランティア交流会

3月28日、3年ぶりとなる「ボランティア交流会」を当院の講堂で開催しました。

今年で30年を迎えるボランティア活動。ボランティアコーディネーターの八木橋克美医療福祉連携部副部長が、30年史「虹」の発刊を発表しました。

現在、ボランティアさんは114人。外来患者さんのサポート、各科での環境整備、傾聴ボランティアなど、それぞれが得意な分野で貢献されています。ほかにも、院内を華やかにする折り紙壁画や患者さんが使用する縫い物の作製、誰でも気軽に立ち寄れる「ほっとサロン」運営など、さまざまな活動を通して病院と患者さん、そして地域を結んでいます。

コロナ禍により活動が中止され、その後も縮小版で活動が行なわれてきましたが、佐藤雅彦病院長の指示のもと、今年3月

季折々の移り変わりが楽しみです。

(介護支援専門員 下小路由美子)

## 〈埼玉〉川口総合病院

3月28日、3年ぶりとなる「ボランティア交流会」を当院の講堂で開催しました。

南棟は、事業所全面の窓から見える桜が見事で、野鳥のウグイスの鳴き声に耳を澄ませていてキジを見ました。これからは田植え後にカモが飛来します。四

まいります。

南棟は、事業所全面の窓から見える桜が見事で、野鳥のウグイスの鳴き声に耳を澄ませていてキジを見ました。これからは田植え後にカモが飛来します。四

まいります。

南棟は、事業所全面の窓から見える桜が見事で、野鳥のウグイスの鳴き声に耳を澄ませていてキジを見ました。これからは田植え後にカモが飛来します。四

まいります。

(介護支援専門員 下小路由美子)

## ボランティア交流会

3月28日、3年ぶりとなる「ボランティア交流会」を当院の講堂で開催しました。

今年で30年を迎えるボランティア活動。ボランティアコーディネーターの八木橋克美医療福祉連携部副部長が、30年史「虹」の発刊を発表しました。

現在、ボランティアさんは114人。外来患者さんのサポート、各科での環境整備、傾聴ボランティアなど、それぞれが得意な分野で貢献されています。ほかにも、院内を華やかにする折り紙壁画や患者さんが使

用する縫い物の作製、誰でも気軽に立ち寄れる「ほっとサロン」運営など、さまざまな活動を通して病院と患者さん、そして地域を結んでいます。

コロナ禍により活動が中止され、その後も縮小版で活動が行なわれてきましたが、佐藤雅彦病院長の指示のもと、今年3月

開催となりました。

前日に200mで事前講習を受けた15チーム34人の子どもたちは、八つのステーションに分かれ、AEDの使用、心肺蘇生術などの応急処置を体験。エコーで隠れトトロを探したり、ロープブリッジで救助活動を行なわれてきましたが、佐藤雅彦病院長の指示のもと、今年3月

## 子どもたちのあいさつから生まれた交流

2月のある日、近隣の施設を利用している高齢の女性とそのスタッフが来園し、子どもたちに折り紙をプレゼントしてくれました。

手の込んだ作品はどれも素晴らしかった。

（神奈川）わかくさ保育園



を喜ばせました。「まちのほけん室」事業は今回を皮切りに、今後も発展的に開催していく予定です。

（経営企画課長 鳥居大輔）



### 12人を迎える新年度スタート

新入園児12人を迎える、4月1日から今年度がスタートしました。

入園当初は不安いっぱいでの「うわあ～ん」と大きな声で泣いていた子どもたち。担当の保育士が優しく関わることで少し

れる乳児院のシンボルになることでしょう。

多くの子どもたちがこの絵画の下で、成長していく姿が目に浮かびます。

（済生記者 鈴木亜希乃）

初めて来院する子どもたちを優しく迎え入れ、また送り出す最後のその時をそっと見守つてくれました。

### 乳児院のシンボルに

3月14日、当乳児院が4月に



移転する新施設「大淀南医療福祉総合施設」で、静林業株式会社（大阪府）の神田祥平社長から寄贈された絵画の除幕式を行ないました。

その絵画は、日本美術院展覧会に何度も入選されている林樹里氏作「秘めし想い」です。林氏は「重なり合う葉、ウツギの花のはざまから、見え隠れする彩鮮やかな光は、縮こまつた心を解きほぐし、そして優しく包む。きっと大丈夫と寄り添いささやく」——そんな思いを込められたそうです。

施設の入口に飾られた絵画は、

その後の患者さんの生活状況を確認するよい機会になりました。

今後も連携を強化してまいります。

### （医事課 佐藤貴啓）

（現若草病院済生記者）

### 「まちのほけん室」

### （大阪）中津病院



東神奈川リハビリテーション病院  
小規模多機能との連携強化

当院退院支援室の西田昭子・青木みゆき、医療福祉相談室の石井祐美子・相沢詠里の4人で3月17日、小規模多機能型居宅介護「メープル仏向館」（横浜

市保土ヶ谷区）を訪問しました。同施設は、通所や宿泊だけでなく看取りまで行なう事業所です。当院の開院時より、退院後に介護保険制度を利用する患者さんの受け入れ先として、相談・連携を図っています。退院前には管理者含めケアマネジャーに当院まで来てもらい、看護師と情報共有しつつ退院準備を行なっています。

今回の訪問の目的は、当院の多職種へ患者さんの退院後の生活状況を共有し、退院支援の振り返りにつなげることでした。

2歳児24人は、裏庭で育てた豆（ぶんど豆、きぬさや、スナップえんどう）を保育士と一緒に収穫し、給食の豆ご飯やスープの具に入れてもらい、味覚でも春を感じています。

これから1年、子どもたちと一緒にわくわくできる体験を楽しんでいきたいと思います。

（済生記者 別府絵里）

（済生記者 本倉美穂）

### （神奈川）わかくさ保育園

### 「まちのほけん室」

### （大阪）中津病院

淀川区田川にある当院の訪問看護サテライトステーションを会場に、3月4日、「まちのほけん室 田川」を開催しました。まちのほけん室事業は、①医療のみならず保健・福祉支援の機会を設ける②SDGsの視点で地域活動を推進する③より強固な地域住民とのパートナーシップを形成する、の三つのコンセプトのもと、かねてより計画されてきました。

当日は当院に加えて、中津医療福祉センター各施設のスタッフとともに血圧測定・骨密度測定・血管年齢測定などの健康チェックを実施。看護師・助産師・保育士による相談窓口も開設しました。土曜日の朝にもかかわらず38人の近隣住民が来室し、関係者も春を感じています。

その後の患者さんの生活状況を確認するよい機会になりました。今後も連携を強化してまいります。

### （医事課 佐藤貴啓）

（現若草病院済生記者）



**桜の名所で歩行訓練**  
〈奈良〉訪問看護ステーション  
野の花

当ステーションに近い佐保川

沿いに住む利用者さんは、自宅から佐保川までの散歩を日課にしています。

佐保川沿いに植えられた総延長5km以上におよぶ千本余りの桜は「川路桜」と呼ばれ、奈良市最大の桜の名所となっています。

散歩にはリハビリスタッフが付き添い、歩行状態・経路と距離・道の段差や道幅・途中休憩場所などの安全確認しながら訓練を行なっています。

その中には、1日5回の腹膜透析を行ないながら在宅療養中の82歳の利用者さんも。「住まいの階段を使い続けられるよう、現状維持が目標です」と散歩を

続けています。

リハビリスタッフは「季節感を感じながら筋持久力向上を図りつつ、ご家族とともに楽しんで安全な生活を送つてもらえたら」と思いを語ってくれました。

（所長 丸山節子）

5月8日以降、感染症法上ではコロナは2類相当から5類へと移行されますが、コロナが終息したわけではありません。

今後も感染対策を十分に行ないながら、利用者さんに喜んでいただけるさまざまな行事を企画してまいります。

（ディサービス相談員  
大窪まゆ）



付けています。  
（大阪）中津病院  
川嶋成乃亮総長（前院長）から志手淳也院長へ、4月3日、昭和初期の中津病院を描いた絵画作品が寄贈されました。

寄贈された絵画は、院長退任を機に川嶋総長が、以前から交流がある荒木淳一氏に依頼した

の写真を元に描かれました。40号の油絵で、2年がかりで制作されました。

寄贈された絵画は総合受付近くに飾り、来院された多くの患者さんにご覧いただいています。

（済生記者 鈴木亞希乃）



**新ユニホームで入職祝い**  
〈岡山〉吉備病院



**新ユニホームで入職祝い**  
〈岡山〉吉備病院

4月1日から看護師のユニホームを一新し、これまでの白いチュニックから、色付きのスクランプへの変更となりました。

現場の要望を参考に、腕を上げやすくかがみやすいなど動きやすさを重視しつつ、通気性・伸縮性の高い生地を採用しました。

当初、紺色のスクラブを予定

4月3日には採用者のオリエンテーション後、新ユニホームを着た看護師5人と病院の桜の木の下で記念撮影を行ないました。

（済生記者 難波美紀）

**新規採用35人にオリエンテーション**  
〈愛媛〉松山病院

4月1日と3日の両日、新規採用者29人と昇任者9人に対し



もの。荒木氏は日本全国で個展を開き、数々の賞を受賞されているヨーロッパの風景画を得意とした洋画家です。

「昭和初期の中津病院」は、大正5年に済生会大阪府病院が北区中崎町に開院し、その後昭和10年に現在の地に移築した當時

## 桜の下で思わず笑顔に

〈大阪〉野江特養城東園

してきました  
が、試着をしてみると思つた以上にシンプルな感じに…。再度試着した結果、見ただけで元気が出るピンク色のスクラップに決定しました。ピンク色に抵抗があつた看護師も

今では、「この服に元気をもらつていまます」と照れた様子。

て辞令交付を行なった後、中途採用を含む新規採用職員35人のオリエンテーションを実施しました。宮岡弘明院長はじめ各担当者から、病院職員としての心得、コンプライアンス、医療安全、院内感染などのレクチャーアゲン、屋上に出で消火器の実演訓練を行ないました。

また14日には、株式会社よんやく事業開発部から三神心里さんを講師に招き、医療倫理・接遇研修を実施。31人が参加しました。名刺交換の作法や電話応対の基礎などのほか、ケース事例に

（総務課 藤井一哉）  
4月4日、デイサービスの利用者さんと桜の観賞に出かけました。当施設に隣接する城北川沿いの遊歩道には桜並木があり、お花見の時期には大勢の地域住民が訪れてぎわいます。

ここ数年、コロナ禍で行動が制限されていましたが、コロナが収まりつつあるため、利用者が収まりつつあるため、利用者が桜を鑑賞していただこうと企画しました。

記念撮影では、自然と明るい表情で笑みを浮かべる人、少し緊張しながら顔をほころばせてボーズをとる人…。「桜」の力はやっぱりスゴイと感じました。

合わせてグループディスカッショなどを行ないました。

新入職員のみなさんはこれからいろいろな経験を積んで、当院を盛り上げてほしいと思っています。

（総務課 藤井一哉）

4月4日、デ

イサービスの利

用者さんと桜の

観賞に出かけま

した。

当施設に隣接する城北川沿いの遊歩道には桜並木があり、お花見の時期には大勢の地域住民が訪れてぎわいます。

ここ数年、コロナ禍で行動が

制限されていましたが、コロナ

が収まりつつあるため、利用者

さんが桜を鑑賞していただこう

と企画しました。

記念撮影では、自然と明るい表情で笑みを浮かべる人、少し

緊張しながら顔をほころばせてボーズをとる人…。「桜」

の力はやっぱりスゴイと感じま

## 周産期母子医療センターが リニューアルオープン

昨年7月から改修工事を行なつていた周産期母子医療センターが3月27日、リニューアルオープンしました。

新センターは、北欧風の温かみのあるデザインで統一されています。また、病室・新生児室、

お産できる体制が整っていますので、今後2回、3回とり

ピートお産が増えることを期待しています」と熱く語ってくれました。

(済生記者 酒井あい)



### 「愛媛」西条病院

#### 「よいとさ保健室」を出展

3月19日、西条市主催の「LOVE SAIJOポイントフェスタ」に、市内3病院とドラッグストアとの協働で、健康相談ブースを出展しました。

分娩室・NICU・GCCUをワンフロアに統合。スタッフ間の連携も取りやすくなり、より充実したケアの提供が可能となりました。



きない状態が続きました。今は実際に3年ぶりの開催となります。

間近で見上げる満開の桜や透き通った青空に触れ、利用者さんも華やかな気分を味わうことができたようです。また、観桜



### 滋賀 守山市民病院

#### 32人の新しい仲間が入職 リハビリを強化

今年度、当院に32人の新しい仲間が加わりました。

回復期医療の中核を担い安心・安全なリハビリ医療を提供するため、看護師だけでなくリハビリ療法士も毎年多数採用しています。

同時に臨床検査技師、臨床工学技士、看護補助者も補充。4月3日の辞令交付式では、野々

現現在、HCU入室の適用と

当院はもともとICU（集中治療室）4床で運用していました。しかし、病棟の入室条件が厳格化し、病床の効率的・効果的な運用が厳しくなったため、昨年4月にHCU（高度治療室）病棟への転換を行ない、病床数も6床に増床しました。

病床機能転換によりHCU病床の稼働率は上がり、地域の救急医療のニーズに応えられるようになりました。

なる患者さんは、救急搬送される中等症・重症の患者さん、あるいは手術後管理の患者さんがメインです。

さらに、年々増加する救急医療ニーズや手術件数の拡大に対応すべく、この5月からHCU病床を6床から8床に増床し、運用を開始します。

8床のうち2床は陰圧室としても運用可。新型コロナウイルス等の感染症患者も管理・治療できる環境を整えました。

これからも地域の医療ニーズを敏感にとらえ、貢献してまいります。

(済生記者 久富大史)



### 山形 老健フローラさいせい

ぎわい、ブースには3歳児から100歳までの約200人が参加。

手洗い教室では、消毒液やクリームを水に見立て、指先から手首の隅々まで丁寧に洗うよう説明しました。また、ストレラッゲストアとの協働で、健康相談ブースを出展しました。

目的は、地域ポイントサービスを活用してSDGsへの関心を高めてもらうこと。スローガンを「すべての人へ健康を」とし、ブースの名称は西条祭りの掛け声の「よいとさ」をとつて「よいとさ保健室」にしました。

当日は、ご家族連れなどで

て「正しい手洗い方法を再認識できてよかったです」「血圧も測つてほしかった」といった感想がありました。

次回は「手作り石鹼教室」の開催を予定しています。

(検診センター 横井小百合)

4月4～11日にかけて、山形済生病院脇の桜並木を利用者さん約60人と職員と一緒に散歩しました。

当施設脇には馬見ヶ崎川（蔵王連峰を源流とし、山形市を貫く最上川水系の須川支流）が流れ、その河原沿いには桜並木が毎年見事に咲き誇ります。

毎年桜の時期には桜並木がスズや血管年齢などを健康測定器具でチェックし、栄養士や保健師がアドバイス。

「正しい手洗い方法を再認識できてよかったです」「血圧も測つてほしかった」といった感想がありました。

次回は「手作り石鹼教室」の開催を予定しています。

(検診センター 横井小百合)

4年ぶりの花見散歩

# topics



これは通常の穿刺針の倍以上の長さがある穿刺針の抜去・止血を透析センター看護師全員が実施できるよう、医師と診療看護師の指導のもと、手順書を作成して取り組んだというものです。

**共同治験との連携を深める**

3月16日、連携をより深めることを目的に、当時の済生会共同治験事務局の植松和子事務局長と大山彰裕治験担当専門員が当院を訪れました。

当院は全国81の済生会病院をネットワークでつなぐ共同治験（なでしこ治験）に参画しており、これまでにいくつもの共同治験を実施してきました。

この日、竹林茂生院長らと面会した2人は済生会100周年事業として設立された共同治験認定病院に

（神奈川）横浜市南部病院



（済生記者 渡邊良子）

師・看護師の負担軽減、防災対策・危機管理、コスト削減や看護の質に関わる取り組みなど、内容は多岐にわたります。院長、看護師長会の審査で見事金賞に輝いたのは、透析センターの「内頸静脈からの穿刺針抜去・止血の統一した手技」。

成して取り組んだというものです。

活動リーダー・大野麻由香さんは「この取り組みを生かして

透析室スタッフ一同、業務に励みます」と話しました。

優秀な取り組みへの表彰は職員のやりがいを高め、次年度に向けた意欲向上につながります。今年で8年目を迎えたQC活動報告会、今後も続けていきます。

（看護部長 水野伊津子）



看護部ではこの春、8人の新しいスタッフを迎えました。新

人研修のある一日

（佐賀）唐津病院

人研修のある一日をご紹介します。

相談室の役割や利用方法などを紹介しました。

岡村さん

は「番組放送直後から

相談があり、ふくまる相

談室が認知され、今後相談が増えます。

関係機関と

しっかりと連携しながら対応していく」と決意を語りました。

緊張した表情も少しずつ解け、笑顔が増えてきました。

（看護部教育委員会 見沢真名、岩村優子）

**山口地域ケアセンター「ふくまる相談室」が市政番組に登場**

「やまぐち・まちの福祉相談室」（通称・ふくまる相談室）が、

3月13日、地元テレビ局の市政番組「やまぐちしま専科」の取材を受けました。

ふくまる相談室は現在、市内11カ所に設置され、その一つが当センターの山口市中央地域包括支援センターに併設されています。

取材当日は、担当職員の松永俊夫さんと受田美智子さんが対応。相談員の岡村僚太さんが、

（済生記者 楊 玉華）



（神奈川県病院）

**看護部QC活動報告会**

3月28・30日の2日間にわたり「看護部QC活動報告会」を実施しました。

今回は11題の発表があり、医

院では毎年2人の臨床研修修了者を輩出したタイミングで臨床研修プログラムの見直しを図り、臨床研修委員会を中心に取り組んできた成果といえます。

当院では毎年2人の臨床研修医を受け入れています。プログラムの特長は、多数の臨床研修

番組は4月の毎週金曜日に放送されています。

（済生記者 楊 玉華）



や協力体制、さらには治験に精通した職員育成を評価されました。

今後の展望として治験文書の電子化など、DXの活用についても説明していました。

これからも共同治験の取り組みに協力し、医療の発展に貢献してまいります。

（治験管理部 安岡晋吾）

医を受け入れる大きな病院にはない、マンツーマンで目の届く指導と、症例の確保があります。

今までのプログラムが、卒後臨床研修評価機構が定める厳しい基準をクリアしていると認められたこと、また今回指摘された事項を改善することで、さらによいプログラムとなるきっかけとなりました。

（済生記者 渡邊良子）

**卒後臨床研修評価機構の認定病院に**

（兵庫県病院）

当院は3月1日をもって卒後

## 本部

**炭谷理事長が証券マンに「インクルーシブ社会を」**  
炭谷茂理事長が、4月25日、東京都中央区日本橋室町の岡三証券グループ本社で講演しました。約50人の社員を前に済生会が令和5年度にスタートした第3期中期事業計画のうち社会貢献事業を重点課題としていることを訴えました。

これは、同社が今年創業30周年を迎えるのを記念して、社会貢献活動を行なう団体を支援するクラウドファンディングを実施。済生会が支援対象に選ばれたことで実現したものです。

炭谷理事長は済生会が取り組むソーシャルインクルージョンの活動を紹介。大阪府済生会が行なっている日雇い労働者への無料健康診断、山口地域ケアセンターの受刑者への介護資格の取得支援、(東京)向島病院や(埼玉)鴻巣病院のことなども食堂などを説明しました。

当園では家族支援の一環として、保護者勉強会を年3回実施しています。勉強会では子どもたちの理解の仕方や物事の捉え方、表現の裏にある理由を肯定的視点から考えてきました。



害児・者支援モデルを開発して取り組むことを説明しました。

参加者は「小中学生の8・8%が発達障害という事実を知り、自分に何かできることはないか改めて考える機会となりました」と話していました。

(本部広報室 杉山菜央)

〈熊本〉なでしこ園

なでしこ園は3月23日、3回目の「ワールドカフェ」を行なった。参加者11人とともに子育てのこれからを考えました。

当園では家族支援の一環として、保護者勉強会を年3回実施しています。勉強会では子どもたちの理解の仕方や物事の捉え方、表現の裏にある理由を肯定的視点から考えてきました。

子どもたちには「育つ力」があるように、家族には「育てる力」があると再確認できる、エネルギーあふれる会となりました。(主任 重本知子)

## 日々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介します。

### 遺伝子解析の可能性に期待

静岡済生会総合病院

斎藤臨床検査技師

2023年4月に発行された日

彩香臨床検査技師らが発表した論

本臨床衛生検査技師会誌「医学検査」72巻2号(日本臨床衛生検査技師会)に、当院病理診断科の斎藤

2023年4月に発行された日  
彩香臨床検査技師らが発表した論



文「ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE) 検体アーカイブス(50年前のFFPE検体を用いた遺伝子解析)」が掲載された。

当院病理診断科開設時にあたる50年前のFFPE検体への免疫染色や、染色体の一部をシグナルとして可視化できることをきっかけに、浜松医科大学腫瘍病理学講座の協力のもと、FFPE検体から核酸を抽出し、PCRによる増幅、サンガーフ

によるシークエンシングを行なうことで変異の検出が可能であることを実証した。

長期保管FFPE検体からの遺伝子発現解析技術を確立できれば、過去の膨大な疾患データを生かして研究が可能となり、疾患の治療や予防に大きく貢献できると考える。若年性腫瘍であれば、数十年後の再発があると期待できる。

(済生記者 酒井あい)

**コロナ禍での機器更新によりよりよい診療へとつなげる**

〈大阪〉吹田病院 廣橋副院長

月刊「新医療」2023年4月

には「中和」の文字が。

私の目の前を走っていく済生会ラ

ンナーに思わず「済生会頑張つて!」と大きな声援を送ると、

背中に「恩賜財団」

の文字を背負ったランナーが手を挙げて

応えてくれました。  
この一瞬のやりとり、胸熱だと思います

せんか?

後で確認すると、

会社から、元気をサポートする栄養ドリンク「タフマンV」1150

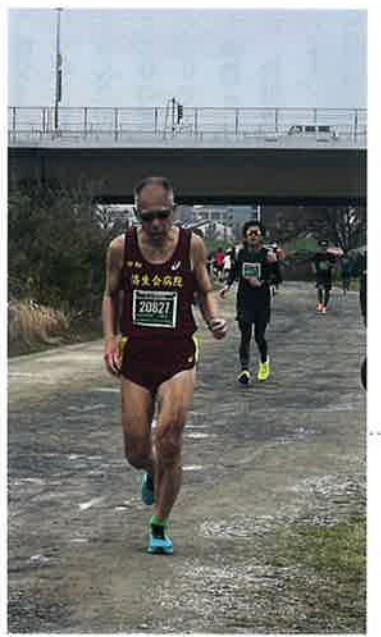
## 大雑報

身の回りで起きた、さまざまことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも、ご報告ください。

がんばれ、済生会ランナー!

3月25日に開催された「なにわ淀川マラソン2023」のハーフマラソンの部に友人が出場するので応援に行きました。

沿道で応援していると、胸に「済生会病院」と書かれたユニホームのランナーが目に飛び込んできました。気のせいかもしれないけど、折り返し走ってくるその姿を見ると、

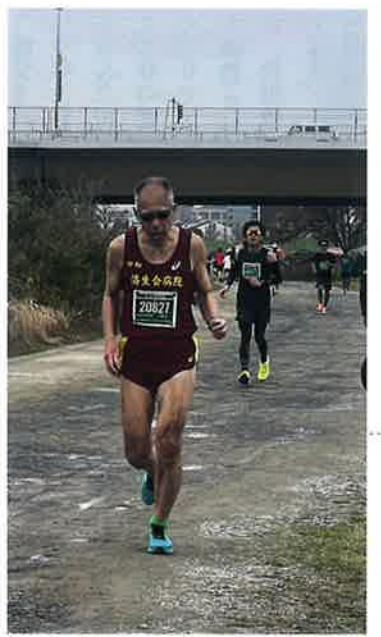


(済生記者 酒井あい)

**がんばれ、済生会ランナー!**

3月25日に開催された「なにわ淀川マラソン2023」のハーフマラソンの部に友人が出場するので応援に行きました。

沿道で応援していると、胸に「済生会病院」と書かれたユニホームのランナーが目に飛び込んできました。気のせいかもしれないけど、折り返し走くるその姿を見ると、



やつぱり胸には「済生会病院」、右上

に「中和」の文字が。  
私の目の前を走っていく済生会ランナーに思わず「済生会頑張つて!」と大きな声援を送ると、

背中に「恩賜財団」の文字を背負ったランナーが手を挙げて

応えてくれました。  
この一瞬のやりとり、胸熱だと思います

せんか?

後で確認すると、

会社から、元気をサポートする栄養

ドリンク「タフマンV」1150

3月20日、埼玉ヤクルト販売株式会社から、元気をサポートする栄養

奈良・中和病院のドリンク「タフマンV」1150

本をいただきました。

「医療機関に従事する皆さま 厳しい環境が続くなか、いつも本当にありがとうございます」と書かれた



## 侍ジャパンの活躍、忘れません！

今年3月、日本中を歓喜の渦に巻き込んだWBC。大会期間中は、はまな荘の老いも若さもこの話題で持ち切りでした。そして、侍ジャパンの優勝という最高の結果で幕を閉じ、利用者さんも職員も大変喜んでいます。

大会が終わって3日。ディケアに入口の壁をみると「侍ジャパン優勝おめでとう」の作品が！

制作したのは、ディケアに勤務する介護職員の喜多下恵さんと鎌田友紀さん。喜多下さんは熱狂的な野球ファンの旦那さんとお子さんの影響でWBCと一緒に応援。侍ジャパンロスを予防するため、大会終了後は

つか九郎がデザインされており、思わずほっこり。日々忙しく、ややお疲れ気味の職員たちも、栄養ドリンクを受け取ると「うれしい。さつそく飲んで午後も元気にがんばります」と、笑顔で喜んでいました。

埼玉ヤクルト販売の皆様、本当にありがとうございました！

（埼玉・川口総合病院 沿生記者 原 衣里奈）

★いつもは自由奔放なつか九郎も、今日は丁寧なお手紙。ありがとうございます！（本部広報室 河内淳史）

（広島 老健はまな荘 沿生記者 佐藤 啓祐）

★そつくりな似顔絵に思わず笑みがこぼれました。もっと早く見ていれば、私もロスに苦しまなかつたはず……。

（広島 老健はまな荘 メディカル・リーフ 富谷咲希）

ふたたび元気に泳げ、鯉のぼり

自宅の倉庫を片付けていたら息子の3年前の鯉のぼりが出てきました。

病院の患者さんに喜んでもらおうと、竹の支柱を立てたりバーゴラ（芝生広場にある格子の屋根）にロープを張ったりすることで復活させることができました。手伝ってくれた職員に感謝です。

カラフルな鯉のぼりたちで、桜が散った後の少し寂しい芝生広場が明るくなりました。

（福岡・飯塚嘉穂病院 事務部長 久良知範幸）

★大きくて立派な鯉ですね！上に向かって泳いで、本当に龍になりそうですね。（本部広報室 杉山菜央）

医療情報の扱い方がこの一冊に

当習志野病院図書室の佐藤正恵司書（ヘルスサイエンス情報専門員）の、「さがす・読む・伝える」初めての医学系情報（日本医学出版）が刊行されました。本書は、医療に関する情報や文献を「さがす・読む・伝える」際に各シーンで必要となる基本的な知識をまとめたものです。

「第1章 さがす」では、Googleなどの検索エンジンのコツや、医中誌Web、PubMedなどの代表的なデータベース検索について具体的に



日々応援してきた大谷翔平選手、ダルビッシュ有選手、ラーズ・ヌートバー選手などの似顔絵を描いていた

るようになりました。気持ちよく泳いでいる姿を見ていると元気をもらえますね。

（福岡・飯塚嘉穂病院 事務部長 久良知範幸）

すね。

★ご出版おめでとうございます。業務として医学論文に目を通す機会もある中、私もぜひ検索や読み方のコツを勉強したいです。

（メディカル・リーフ 坂本陽子）

看板に訪問看護師さんへの

エールを込めて

4月1日、日田病院の敷地内に「済生会まほろば訪問看護ステーション」が開所。甲斐祐治医療社会事業室統括室長より、新施設の看板のデ



励んでいきたいと思います。

（大分・日田病院 MSW

★なでしこの花も文字の緑のグラデーションもとてもかわいいですね。地域の方から愛される施設づくり、がんばってください！

（本部広報室 杉山菜央）



私の自慢の向ヶ浜

の前には全長約1kmの向ヶ浜が広がっています。海沿いを散歩したり、

次号予告

済 生 No.1128 [令和5年6月号]

済生会の不易流行論 (177) 岩谷 茂

NEWSな済生人

済生会交差点

この人 坂巻有紗

口福にっぽん (69) 煙で採れたピーナッツペースト (千葉県旭市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

アカサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)

広告索引

裏表紙 [表紙4]

砂浜で投げ釣りをしたり。朝から夕方まで近隣住民の憩いの場所になります。

昼間の明るい時間も素敵ですが、

日が落ちてからも癒やされます。月が明るい夜は、水面に映る光の帶に心が洗われます。波の音と潮風が重なって、目や耳、肌で海を感じることができます。

都会の喧騒から離れた大自然がもたらすロケーション。私の自慢です。

(宮崎・日向病院 濟生記者 村尾 愛)

★すてきなお写真! 私も都会の喧騒から離れて風光明媚な場所へ行きたいなあ……。

(メディカル・リーフ 平山果奈)

けを背景に、済生会創立の精神である「生(いのち)を済(すく)う」の文字を印象的にあしらったインパクトのあるデザインになっています。

全80車両のうち10車両のみの掲出なので、なかなか見られないレア広告ですが、地下鉄七隈線をご利用の際には、ぜひ顔を上げて探してみてください。

(福岡総合病院 濟生記者 富永朋実)

★福岡空港からもJR博多駅からもアクセス抜群の病院がさらに便利になるとは……うらやましい。

(本部広報室 河内淳史)



済生会

明治44年2月  
11日、明治天皇  
は、時の総理大臣桂太郎を召さ

れて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるよう

に」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募つて同年5月30日済生会を創立した。

財團済生会を創立した。

以来今日まで111年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財團済生会となっている。

編集兼発行人 岩谷 茂

合計 403 (数字は令和3年度)

発行所 社会福祉法人 財團済生会

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の59島の診療活動に携わって

いる。

職員数は全国で約6万4000人。

本部 東京 支部 40都道府県  
総裁 秋篠宮皇嗣殿下  
会長 潮谷義子  
理事長 岩谷茂

病院 81 診療所 19  
介護老人保健施設 1  
救護施設 1  
児童福祉施設 1  
障害者福祉施設 1  
介護医療院 1

明治44年2月  
11日、明治天皇  
は、時の総理大臣桂太郎を召さ

れて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるよう

に」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募つて同年5月30日済生会を創立した。

財團済生会を創立した。

以来今日まで111年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財團済生会となっている。

編集兼発行人 岩谷 茂

合計 403 (数字は令和3年度)

発行所 社会福祉法人 財團済生会

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の59島の診療活動に携わって

いる。

職員数は全国で約6万4000人。

★すてきなお写真! 私も都会の喧騒から離れて風光明媚な場所へ行きたいなあ……。

(メティカル・リーフ 平山果奈)



/think! / sync!

知る・見つける・支える  
**ソーシャル  
インクルージョン**

Social Inclusion シンク!

はじめて、シンク!です。

済生会が推進するソーシャルインクルージョンを、多くの人々に知つてもらうためのウェブメディアができました。

サイト名は「知る・見つける・支える ソーシャルインクルージョン」。

愛称の「シンク!」は、social inclusionから名付けました。

think (思いを巡らせる)、sync (共感する、シンクロする) という意味も込めています。

済生会内外のさまざまな活動の記事を通して、ソーシャルインクルージョンの実現を目指す人々の思いを知り、共感し、そして仲間になってほしい。

それがシンク!の思いです。

知る・見つける・支える  
**ソーシャル  
インクルージョン**

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>



濟 生 [令和5年5月号]  
THE NEWSLETTER OF  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和5年5月10日発行

通巻第1127号 (第99巻第5号)

編集兼  
発行人 岩谷 茂

発行所 社会福祉法人 財團済生会

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL : 03-3454-3311 (代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

©社会福祉法人 財團済生会

# 済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、  
個人保険に比べて  
割安な保険料で  
大きな死亡保障を!!

## グループ保険

[災害割増特約・こども特約、  
こども災害割増特約付福祉団体定期保険]

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)  
手続きが簡単なうえ、  
剰余金があれば  
契約者配当金が戻ります。



## ① 終身医療保障プラン

[手術給付特約・手術補完給付特約・  
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担  
保持約(入院保障保険(終身型09)用)付  
入院保障保険(終身型09)(60日型)]

## ② 総合医療あんしんプラン

[総合医療保険(団体型)]

(本人・配偶者・こども対象)

2つの保険より、  
選択できます。



第二の人生を  
充実させるために  
今からご準備を!!

## ゆうゆうライフプラン

[拠出型企業年金保険、  
医療給付金付個人定期保険]

(本人のみ対象)



済生会グループ保険の次回一斉募集は、  
令和5年7月下旬にご案内予定です。



\*このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社]

**アクサ生命保険株式会社** [事務幹事会社]

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社  
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社  
明治安田生命保険相互会社

[医療保険引受保険会社]

**アクサ生命保険株式会社** (終身医療保障プラン)

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

**日本生命保険相互会社** (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター

電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取扱いしておりません)】

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン お問い合わせ先]

**アクサ生命保険株式会社 制度推進部**

[照会先] 法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7450

[総合医療あんしんプラン担当営業部]

**日本生命保険相互会社 公務第一部**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5085